

Bluebeam Revu（ブルービーム・レビュー）スタートアップガイド （Revu21 基本編）

本書は、はじめて Bluebeam Revu を操作する方向けの資料です。

詳しい情報や、よくあるご質問については以下をご覧ください。

<https://bb-support.zendesk.com/>

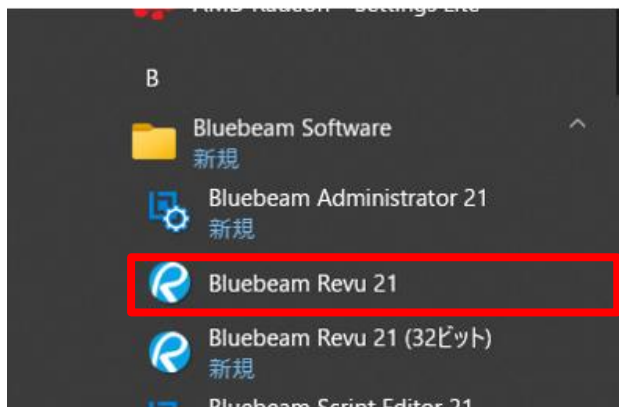
パナソニック デジタル株式会社

■ソフトウェアの起動と終了	2
■PDF ファイルを開く	6
■マークアップの書き込み	8
■マークアップのプロパティ変更	9
■マークアップの登録	10
■マークアップリスト	13
■マークアップの要約	21
■測定	23
■PDF の比較	30
■PDF の重ね図（オーバーレイ）	32
■図形検索	36

※本書の画面は、一部を除き Revu 21 Complete プランのもので
操作方法は、一部を除き Revu 21 Core プラン、Revu 20、Revu 2019 と共通です。

■ソフトウェアの起動と終了

Windows のスタートメニュー、またはデスクトップのアイコンから Bluebeam Revu を起動します。

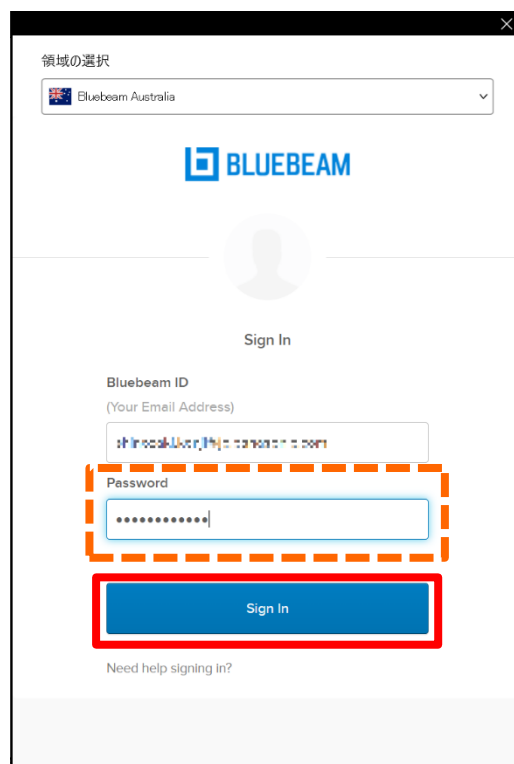


※前回サインアウトをして終了していた場合など、サインインをしていないと以下のようなダイアログが表示されますので、以下のように領域の選択を行い、BluebeamID、Password を入力してサインインします。

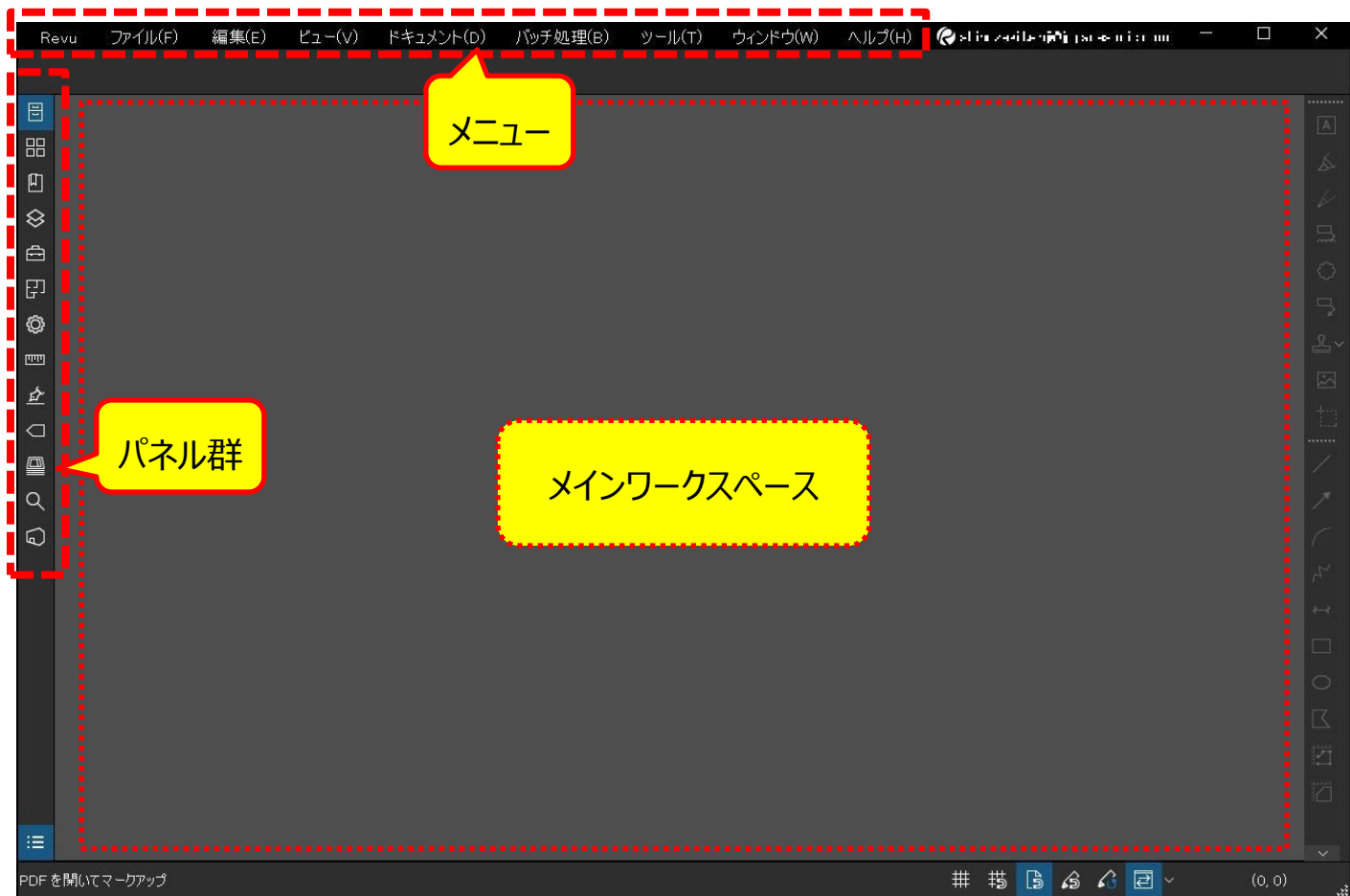
購入済み正規ライセンスの場合：Bluebeam Australia

体験版の場合：状況により、Bluebeam United States または Australia

※体験版のご利用には事前のお申し込みが必要です。(<https://bb-support.zendesk.com/hc/ja/articles/5040560403358>)



Bluebeam Revu が起動すると画面表示は以下ようになります。



メニューとパネル群からさまざまな操作が行えます。













●メニュー

メニューにはすべての機能と設定が表示されます。 ※[F9]キーによりメニューの表示/非表示を切り替えられます。

- [Revu]** ソフトウェアの各種設定や管理するための機能が含まれます。(基本設定、プロファイル、など)
- [ファイル(F)]** 新しいPDFを作成したり、既存のPDFファイルを開いたりする機能が含まれます。
- [編集(E)]** コピーや貼り付け、スナップショットなどの編集機能が含まれます。
- [ビュー(V)]** ワークスペースの外観や動作を変更できます。(ページの幅に合わせて表示、画面の分割、など)
- [ドキュメント(D)]** PDFドキュメントの操作ができます。(ページの回転、ページの置き換え、ドキュメントの比較、など)
- [バッチ処理(B)]** 複数のPDFに対して一括の処理ができます。
- [ツール(T)]** 各種のマークアップを操作できます。(テキストボックス、矢印、図形、スタンプ、測定、など)
- [ウィンドウ(W)]** タブ、パネルの表示状態を制御する機能が含まれます。

●パネル群

各種パネルにはさまざまな機能が用意されています。主なパネルの説明を以下に記載します。

	[File Access]	最近開いたPDFを表示、よく使うPDFを登録して素早くアクセスできます。
	[サムネイル]	PDFの小さなプレビューが表示され、複数ページのドキュメントのページを素早く移動できます。
	[ブックマーク]	PDFのブックマークの表示、追加や削除などの操作ができます。
	[レイヤー]	PDF中にレイヤーがあれば、表示/非表示やレイヤーの移動などができます。
	[Tool Chest]	よく使うマークアップを使いやすく再利用するために集めたものです。
	[リンク]	PDF内のハイパーリンクを一覧表示し、追加、編集することができます。
	[プロパティ]	PDFファイルのプロパティ、マークアップのプロパティを表示、変更ができます。
	[測定]	選択した測定に関するプロパティの表示などを行います。
	[フォーム]	PDFフォームの表示、作成を行うことができます。
	[検索]	PDFファイル内のテキストや図形の検索ができます。
	[Studio]	Studioサーバーに接続して、Studioセッションとプロジェクトの管理ができます。
	[マークアップ]	PDFに配置されたマークアップの一覧を表示します。リスト上で各種操作が可能です。

●メインワークスペース

PDFファイルなどを表示する中央のスペースです。

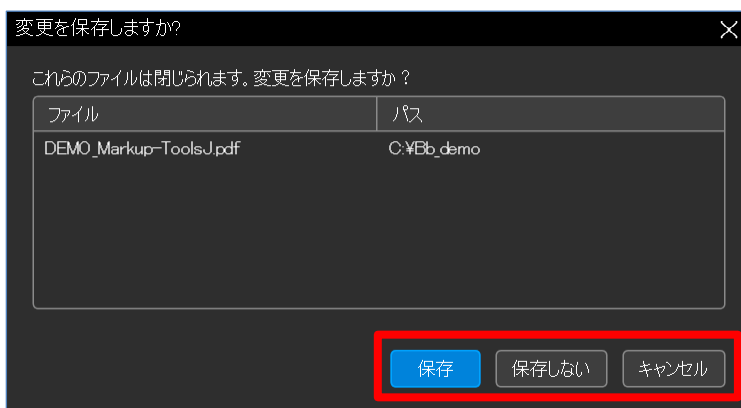
画面右上のアカウント表示部分をクリックすると、アカウントの地域、プランを表示します。



Bluebeam Revuの終了は、[Revu]メニューの終了、または右上の[×]をクリックします。

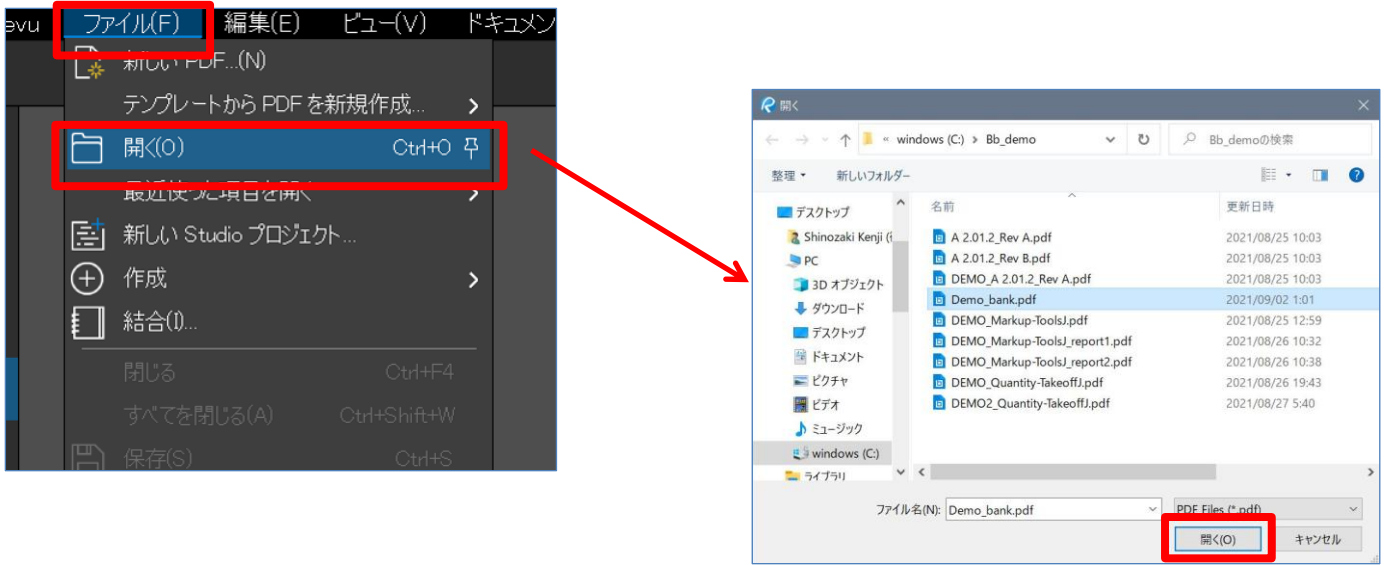


編集集中のPDFを開いている場合には、変更の保存の確認画面が表示されますので、必要に応じて保存をしてください。

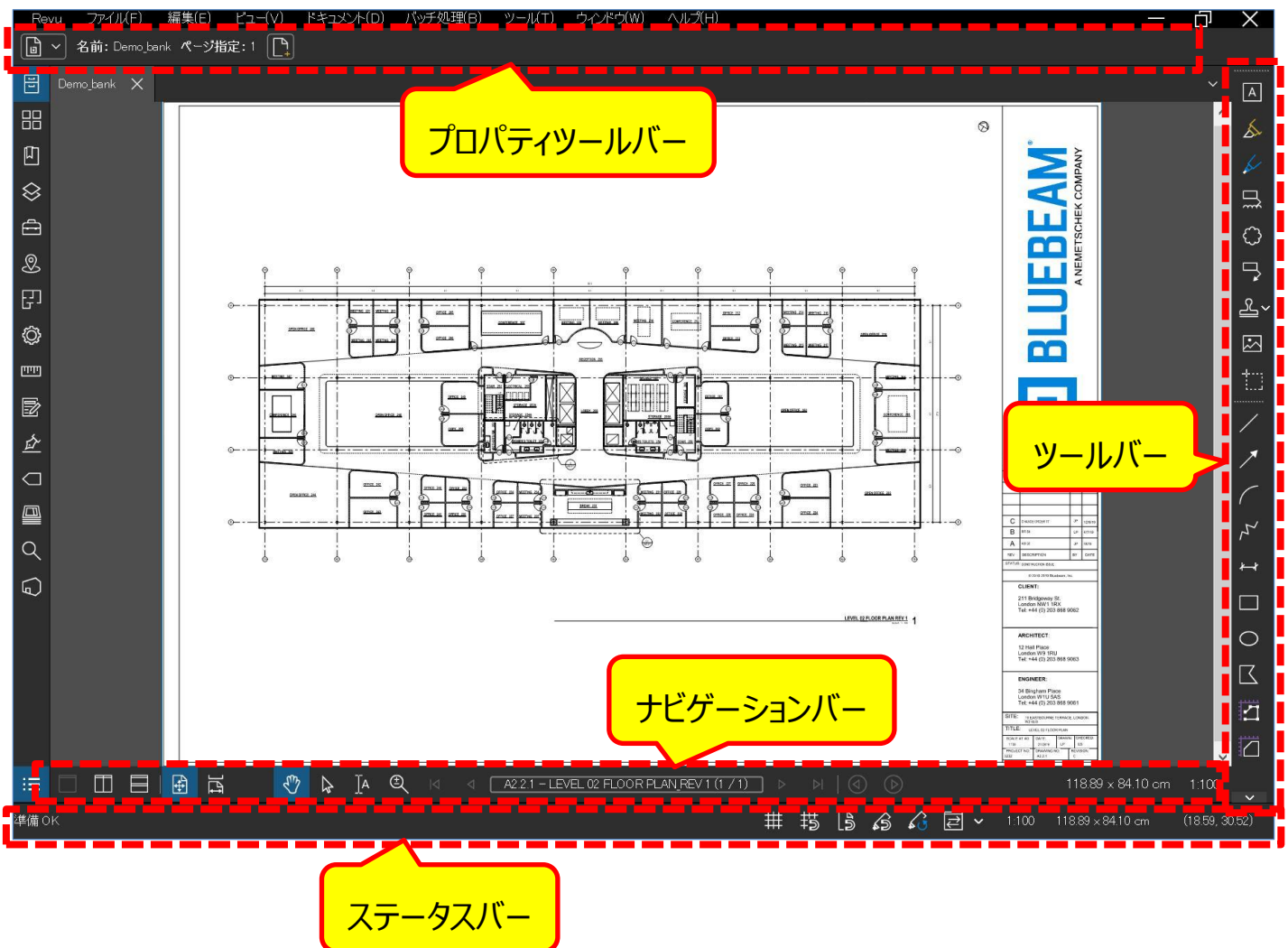


■ PDF ファイルを開く

メニューの「ファイル(F)」の「開く(O)」を選択し、開きたいファイルを選択して「開く(O)」を押します。



PDF ファイルを開いたときの画面表示は以下ようになります



●プロパティバー

現在アクティブになっているタブやマークアップについての情報、プロパティを表示します。
マークアップのプロパティを変更することが可能です。

●ツールバー

よく使用するマークアップの機能を集めたものです。
右クリックのメニューのカスタマイズを選ぶことでツールバーの内容をカスタマイズすることができます。

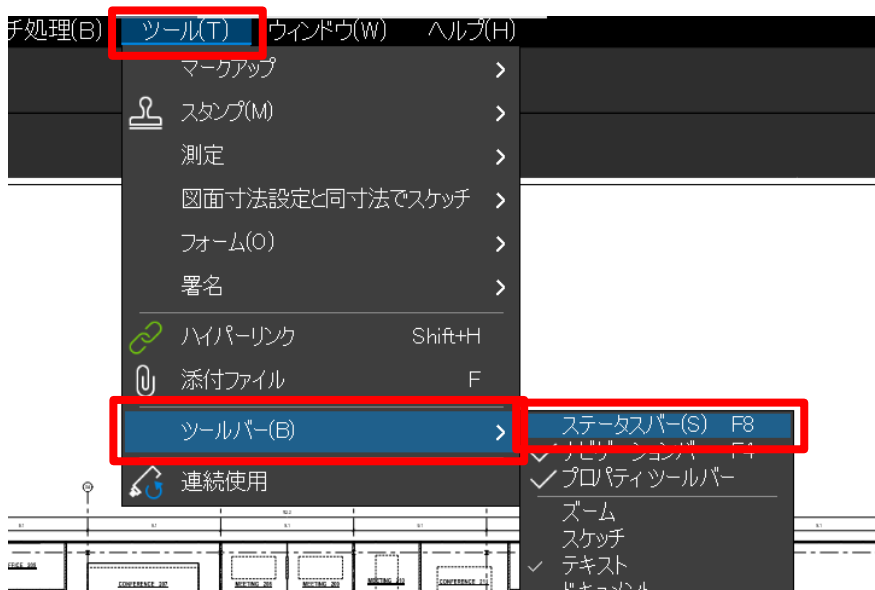
●ナビゲーションバー

メインワークスペースの外観と動作を変更に関する操作を行います。
画面分割、ページスクロール、テキストの選択、ズームツール、ページ操作、など。

●ステータスバー

グリッド表示、スナップ関連の設定ができ、右側にはページの縮尺やページサイズが表示されます。
※ステータスバーはデフォルトでは表示オフとなっています。

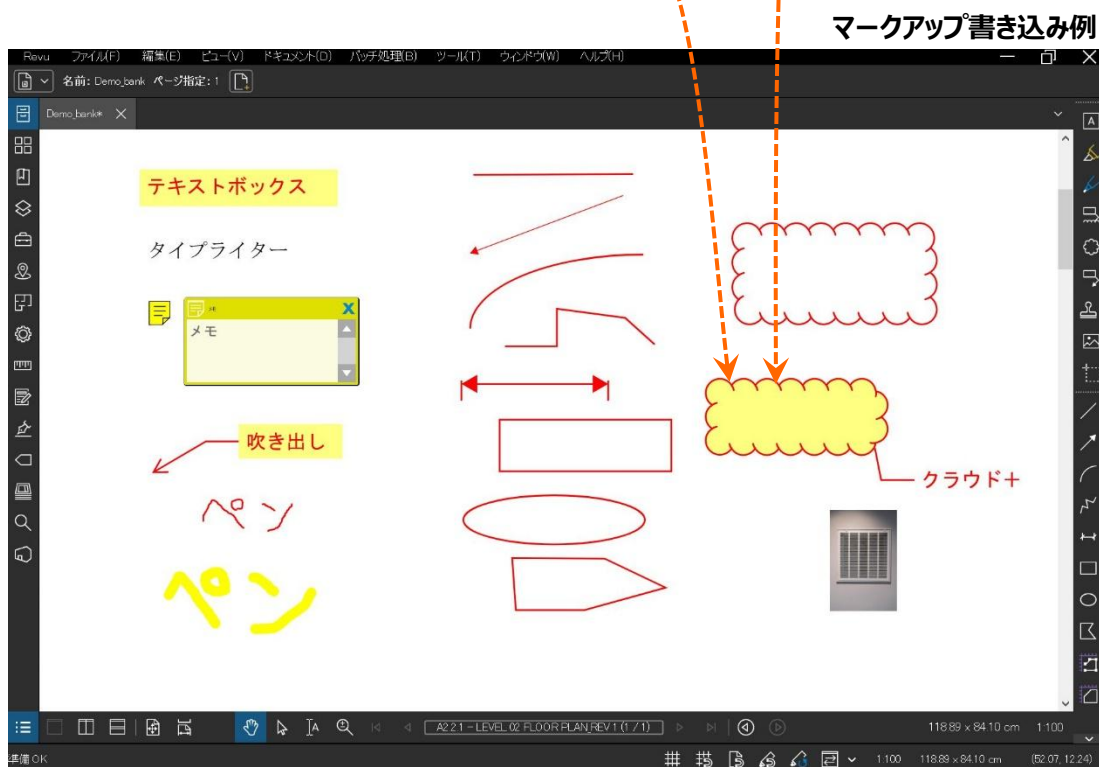
ステータスバーの表示オン/オフは、メニューの「ツール(T)」の「ツールバー(B)」の「ステータスバー(S)」で設定します。



■ マークアップの書き込み

Bluebeam Revu には、テキストボックス、ペン、クラウド、吹き出しなどのマークアップが多数用意されています。

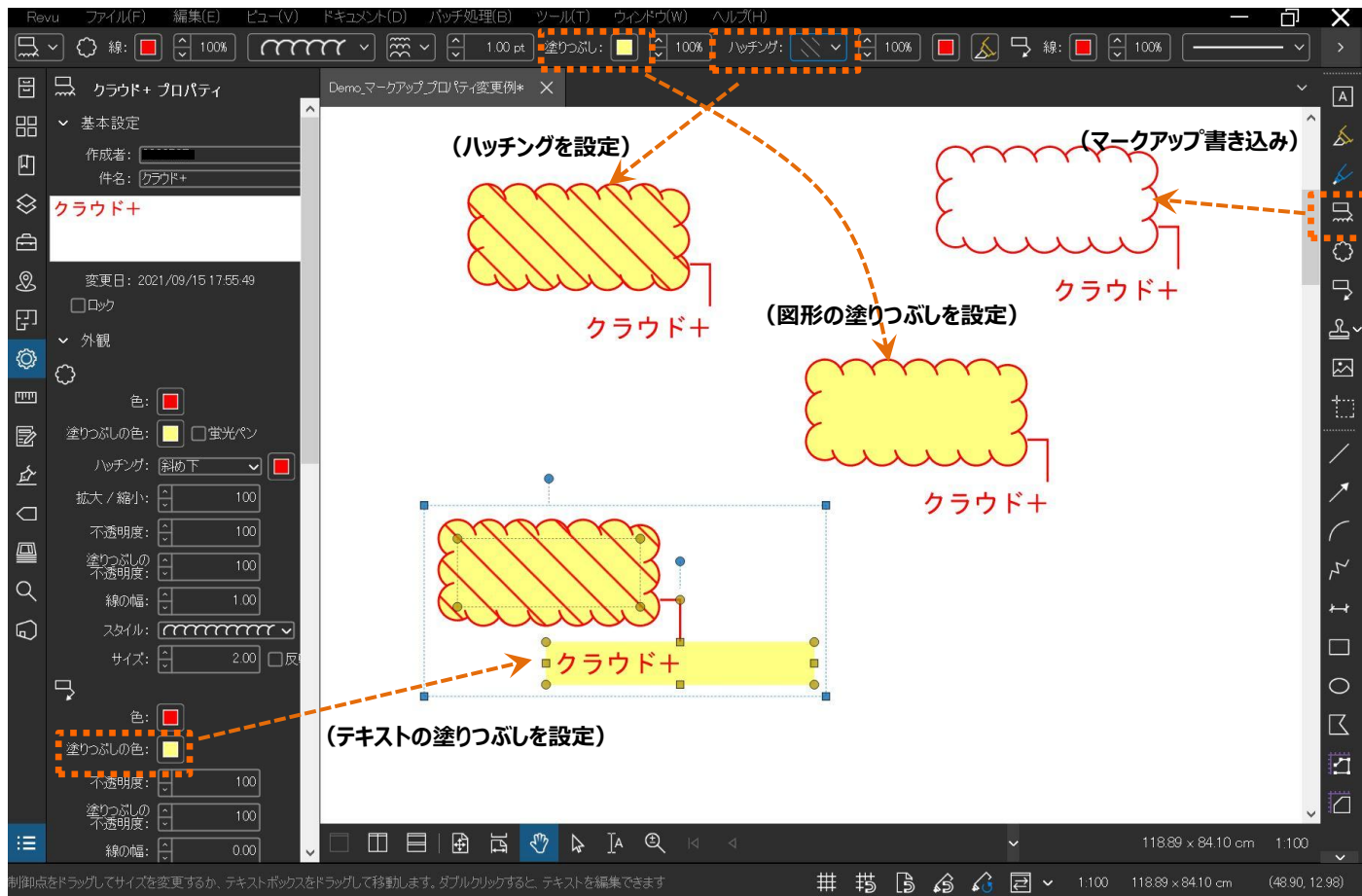
メニューの「ツール(T)」の「マークアップ」から、またはツールバーから所望のマークアップを選択して、マウス操作で書き込みを行います。



■ マークアップのプロパティ変更

書き込みしたマークアップのプロパティ（設定）は、プロパティパネル、またはプロパティツールバーにて変更が可能です。

※プロパティパネル、およびプロパティツールバーの表示内容は、選択しているマークアップの種類により変わります。

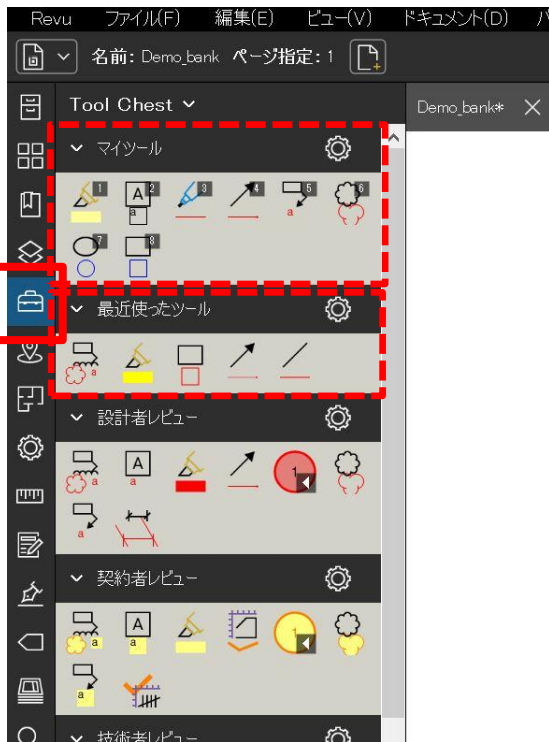


■ マークアップの登録

カスタマイズしたよく使用するマークアップを Tool Chest に登録することにより、繰り返し使えるようになります。

● Tool Chest

パネルの「Tool Chest」をクリックして表示します。いくつかのツールセット、マークアップがデフォルトで登録されています。



マイツール :

ユーザーが頻繁に使用するマークアップのためのツールセットです。

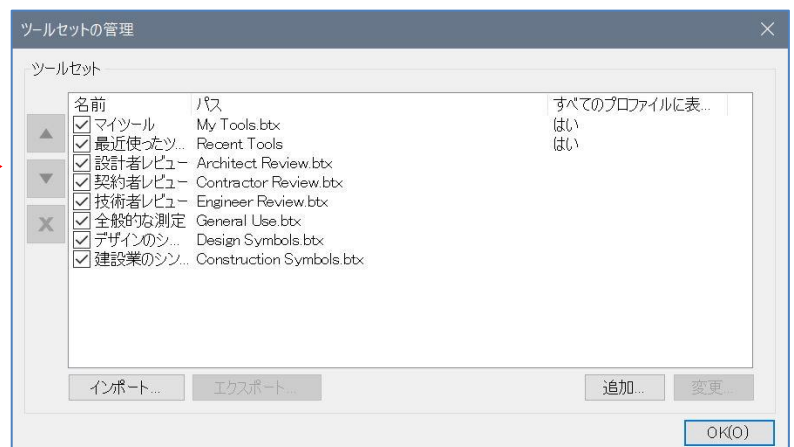
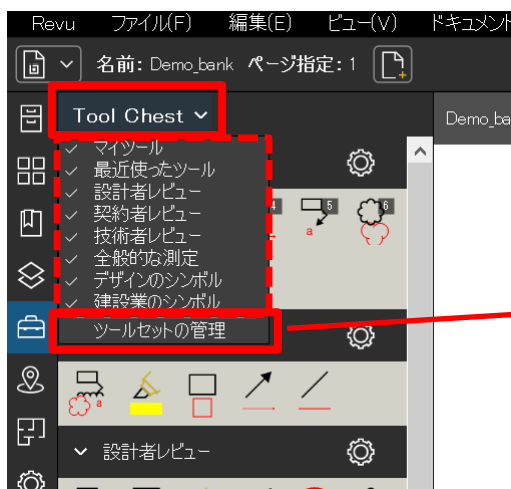
最近使ったツール :

最近使ったマークアップを記録するツールセットです。

一時的なツールのため、Revu を終了するとツールセットの中身がクリアされます。

[Tool Chest メニュー]をクリックすると使用可能なツールセットのリストが表示されます。

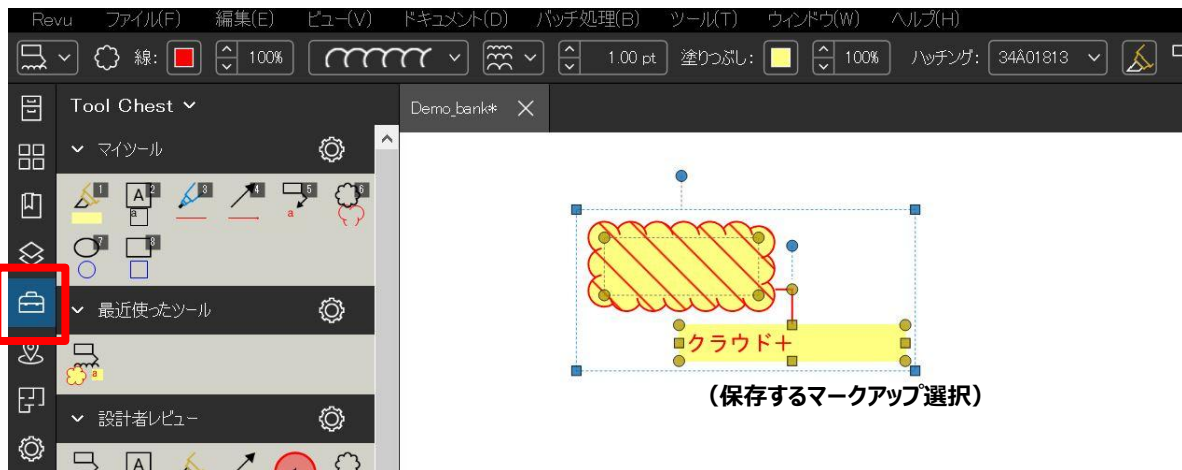
最下段の[ツールセットの管理]を選択して、管理画面を表示します。ここで、ツールセットの追加、削除、変更、エクスポート/インポートを行うことができます。



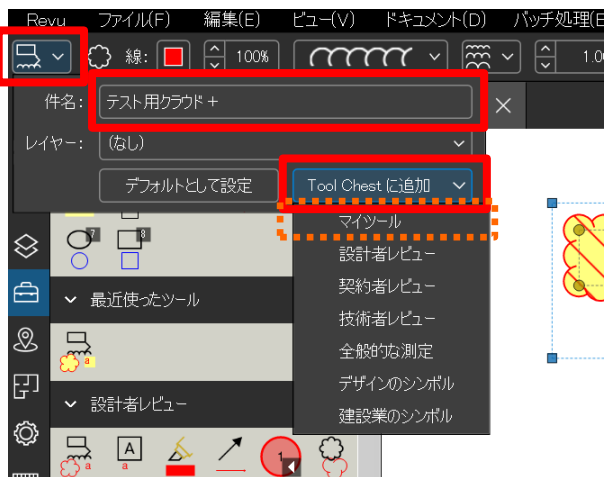
● Tool Chest への保存

(例) カスタマイズした“クラウド+”のマークアップを Tool Chest のマイツールに登録する

保存したいマークアップ (クラウド+) を選択し、プロパティツールバーの一番左をクリックしてパネルを表示します。



プロパティツールバーの一番左のボタンをクリックします。



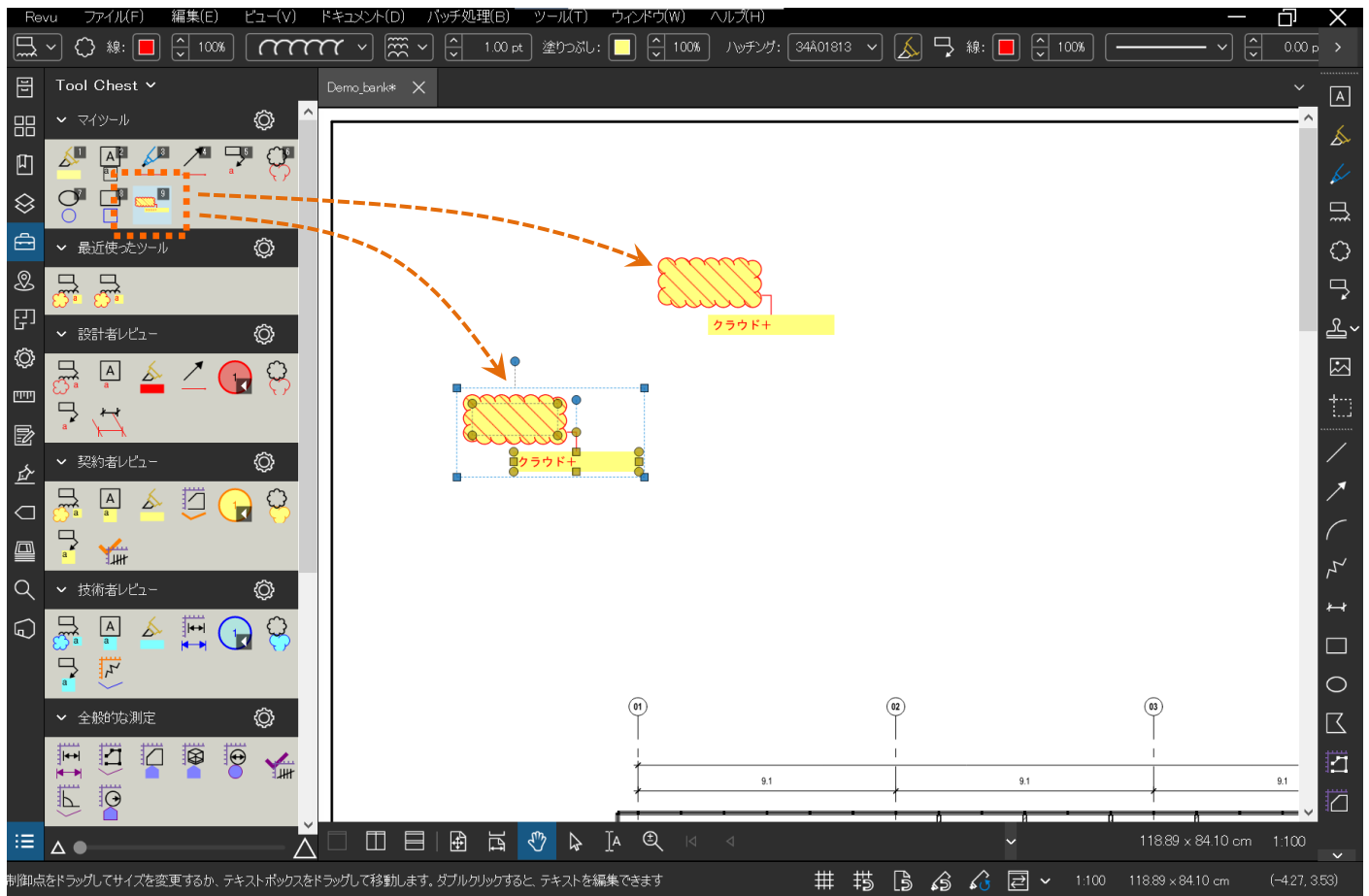
件名に登録するマークアップの名称を入力します。

Tool Chest に追加をクリックして、登録先のツールセット (今回は“マイツール”) を選択するとマークアップが保存されます。



(“マイツール”にマークアップが追加される)

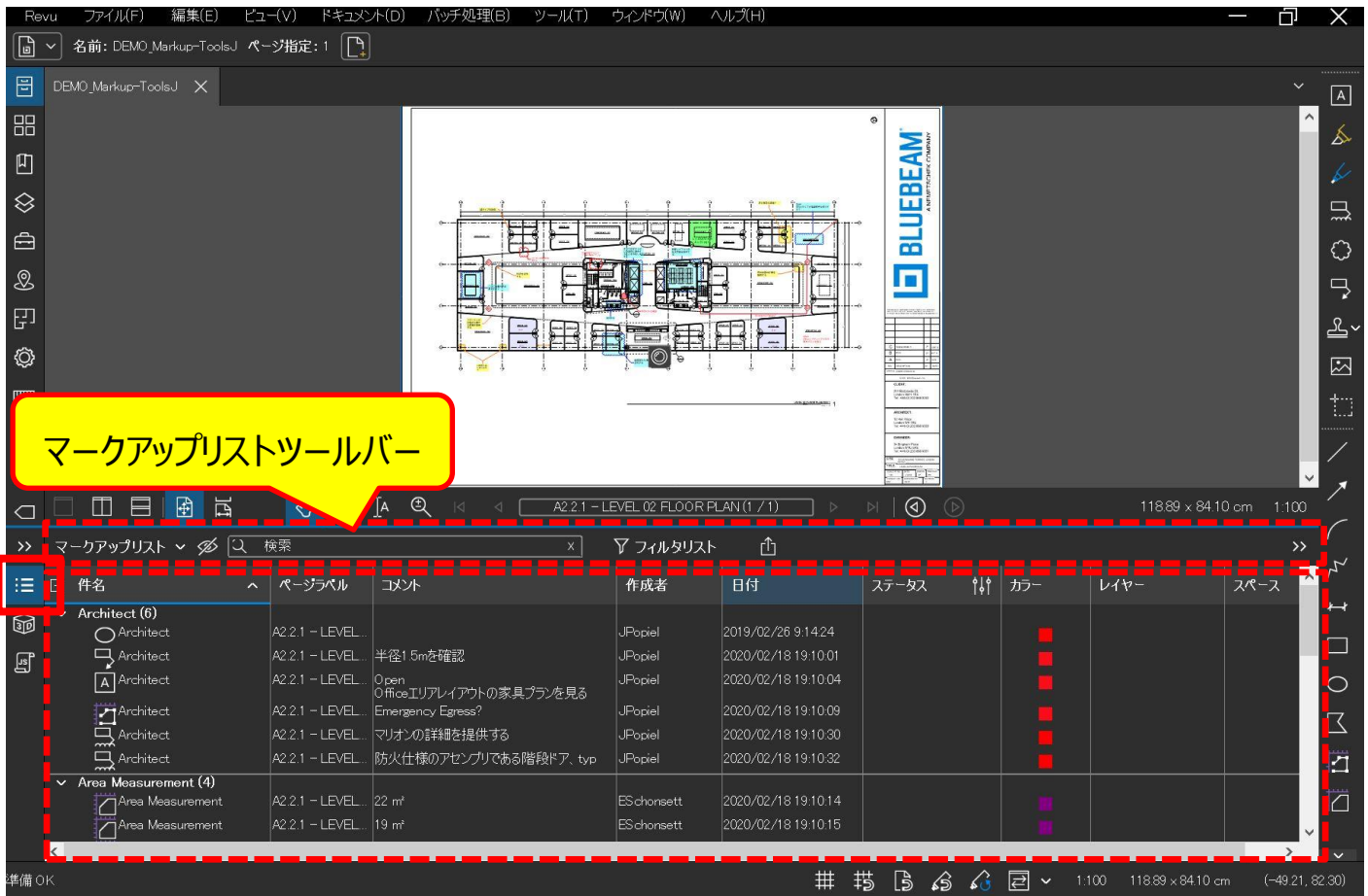
保存したマークアップは、Tool Chest から繰り返し利用が可能となります。



■ マークアップリスト

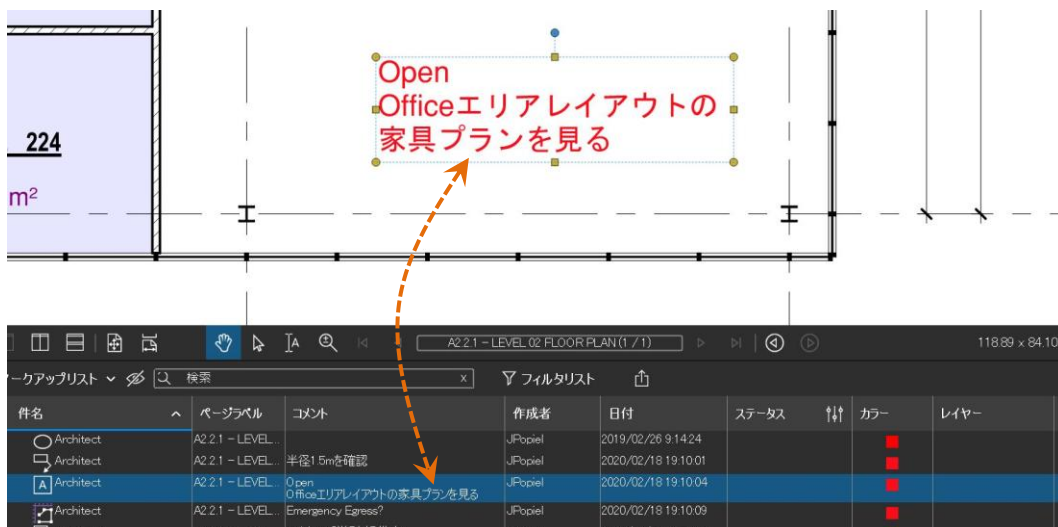
書き込んだマークアップは全て記録されていて、リスト形式で表示することができます。

パネル「マークアップリスト」をクリックすることで、マークアップリストの表示/非表示が可能です。



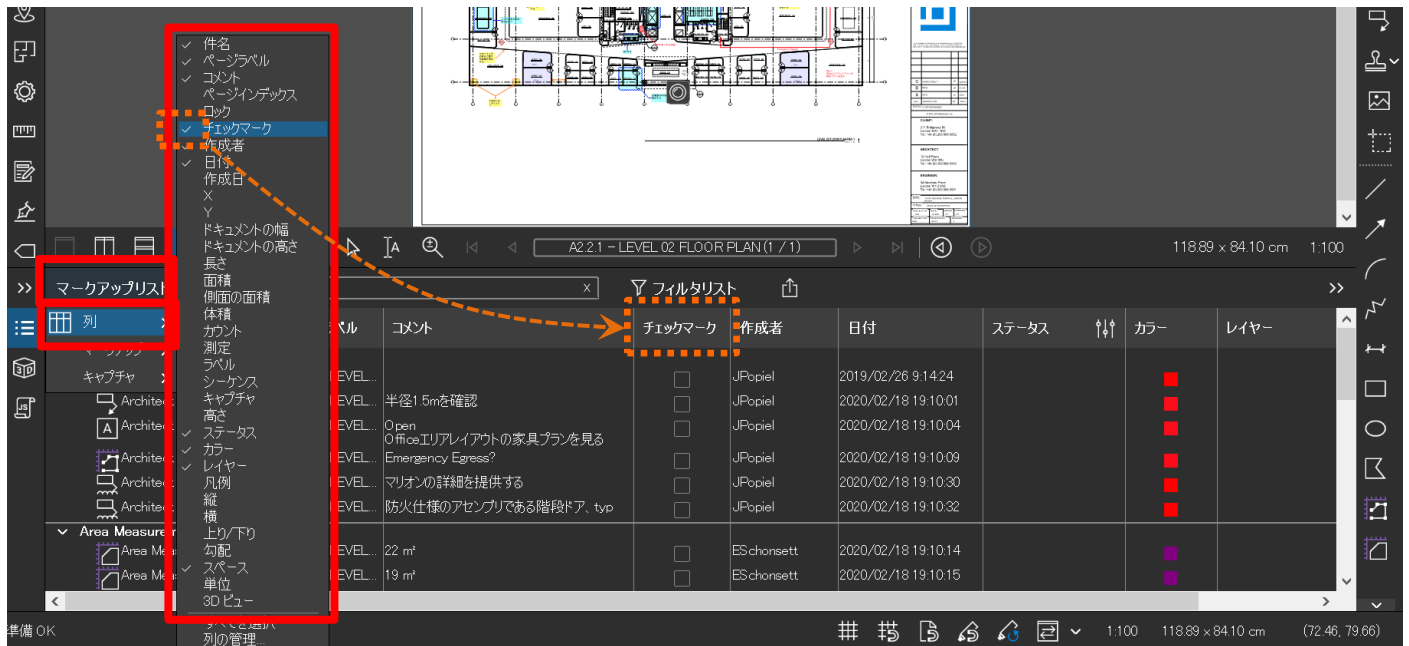
マークアップリスト内のマークアップの行を選択すると、ワークスペース上の関連するマークアップの位置にジャンプします。

これにより、マークアップリストで上下矢印キーを使用して、PDF 内のマークアップを簡単に移動できます。



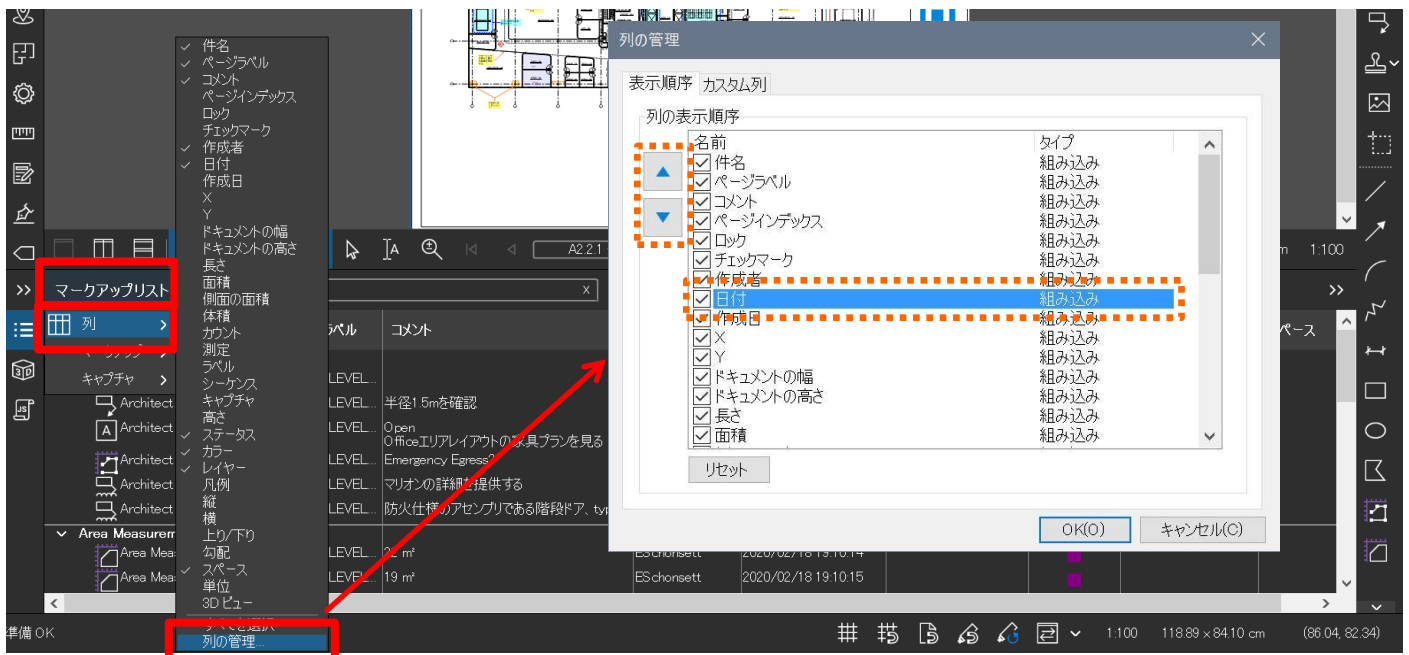
●列の表示/非表示

マークアップリストツールバーの[マークアップリスト]の[列]を選択すると、使用可能な列が表示されます。
 チェックをオンにするとマークアップリストにその列が表示されます。



●列の表示順の変更

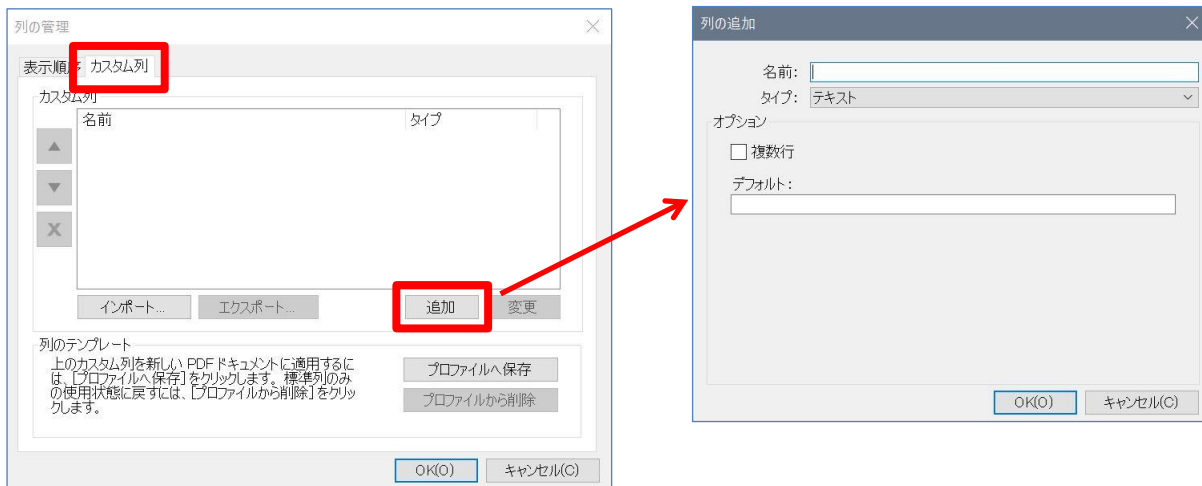
マークアップリストツールバーの[マークアップ]の[列]の[列の管理]を選択して、列の管理のダイアログボックスを表示します。
 [表示順序]タブで列を選択し、[▲]または[▼]ボタンを使用して移動させることで、表示順序を変更します。



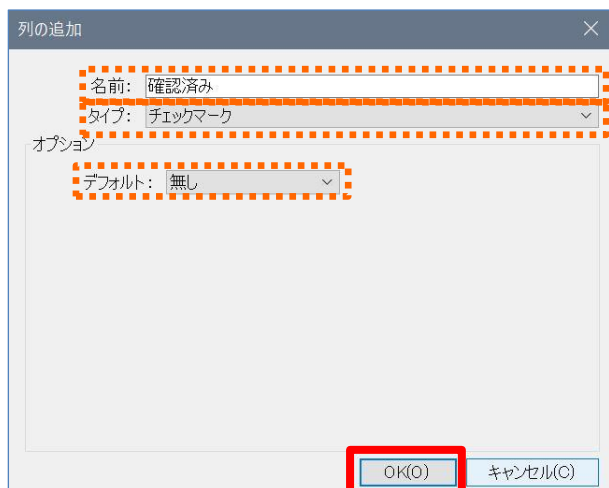
●カスタム列の作成

ユーザーの使い方に応じた新規の列（カスタム列）を作成することができます。

マークアップリストツールバーの[マークアップ]の[列]の[列の管理]を選択して、列の管理のダイアログボックスを表示します。
[カスタム列]タブを選択し、[追加]ボタンを押して[列の追加]ダイアログボックスを表示します。



追加する列の情報を設定します。



名前：

列の表示名を入力します。（例）“確認済み”

タイプ：

列の種類を選択します。（例）“チェックマーク”

※“チェックマーク”/“選択”/“日付”/“数式”/“数”/“テキスト”の6種類から選択できます。

デフォルト値：

必要に応じて、チェック有りに設定します。

[OK]を押してカスタム列に追加し、[列の管理]ダイアログボックスで[OK]を押して設定します。
マークアップリストにカスタム列が追加されます。



●列でのソート

マークアップリストの列でマークアップのソートを行うことができます。

目的の列のヘッダーをクリックするとソートされ、もう一度クリックすると並び順が逆になります。

件名	ページラベル	コメント	作成者	日付	ステータス	確認済
2019/02/26 (6)						
Architect	A2.2.1 - LEVEL...		JPopiel	2019/02/26 9:14:24		
Contractor	A2.2.1 - LEVEL...	?	ESchonsett	2019/02/26 9:15:10		
Contractor	A2.2.1 - LEVEL...	?	ESchonsett	2019/02/26 9:15:10		
Engineer	A2.2.1 - LEVEL...	RFI #14	MWebber	2019/02/26 9:15:44		
Glazing	A2.2.1 - LEVEL...	4	ESchonsett	2019/02/26 9:16:07		
Snapshot	A2.2.1 - LEVEL...		ESchonsett	2019/02/26 9:23:09		
2020/02/18 (21)						
Architect	A2.2.1 - LEVEL...	半径1.5mを確認	JPopiel	2020/02/18 19:10:01		
Contractor	A2.2.1 - LEVEL...	フローリングの移行に関する詳細を提供する	ESchonsett	2020/02/18 19:10:03		

ソートを行うと、[件名]列にあるセクション見出しにソート内容でマークアップが集約されます。

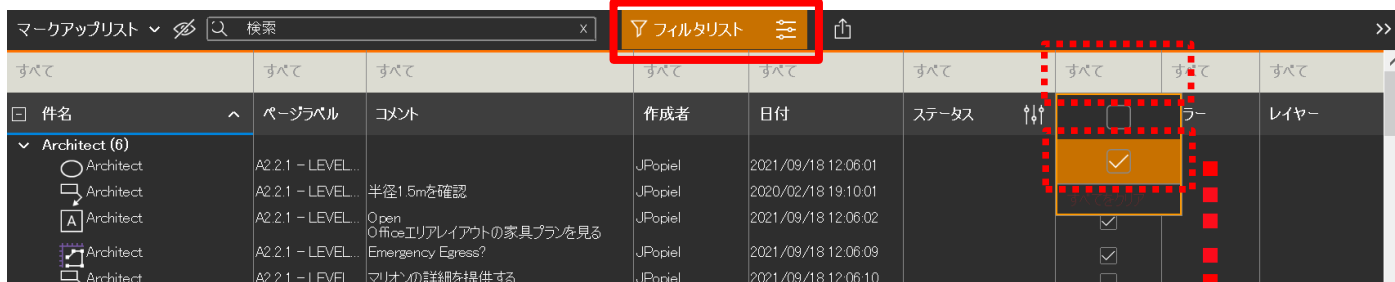
● 列でのフィルタ

マークアップの各列の内容でマークアップのフィルタリングを行うことができます。

マークアップリストツールバーの[フィルタリスト]をクリックしてフィルタリングのオンオフを切り替えます。

フィルタリングをオンにして、目的の列のフィルタボタンをクリックしてフィルタの基準となる値を選択します。

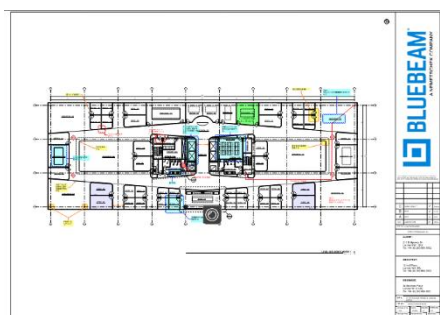
(例) カスタム列“確認済み”のチェック項目でフィルタリングする。



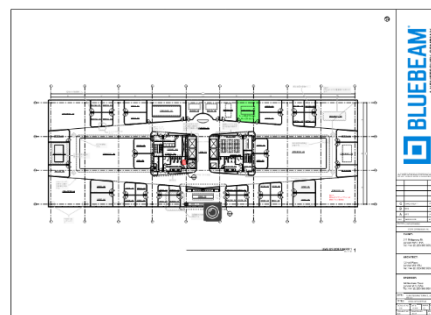
必要に応じてこの手順を繰り返して、他の値でフィルタリングします。

フィルタリングを行うと、マークアップリストには選択したフィルタに一致したマークアップのみが表示されます。

ワークスペースの PDF 上は、選択したフィルタと一致しないマークアップは淡色表示となります。



(フィルタリング前)



(フィルタリング後)

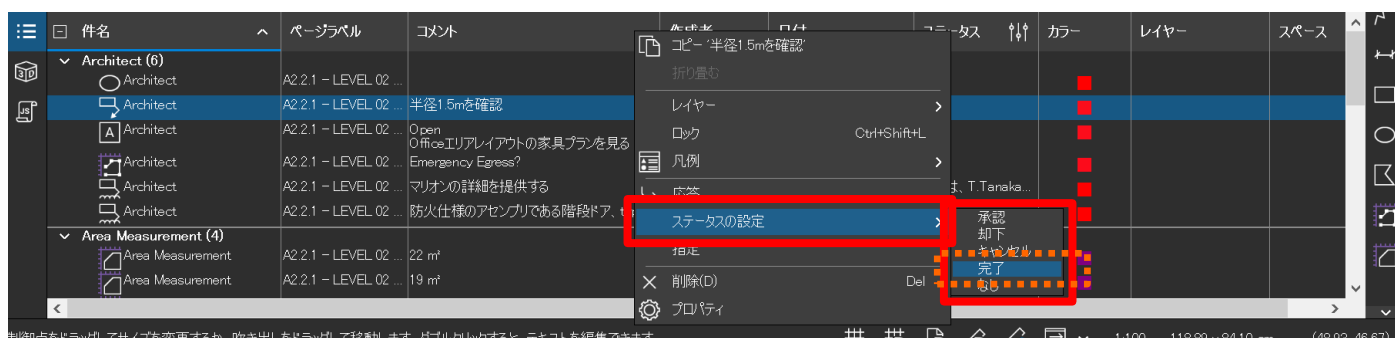
●ステータスの変更、応答

マークアップに対して、ステータスの変更、応答の機能を利用して簡単なワークフローのようなこともできます。

ステータスの変更：

マークアップのステータスを設定します。ステータスを管理することで、マークアップの指摘事項の管理を行うことができます。ステータスの設定は、ワークスペース上のマークアップ、またはマークアップリスト上のマークアップを選択し、右クリックで[ステータスの設定]に移動して選択します。

設定できるステータスは、デフォルトでは5種類（“承認”、“却下”、“キャンセル”、“完了”、“なし”）となり、カスタムのステータスも作成できます。

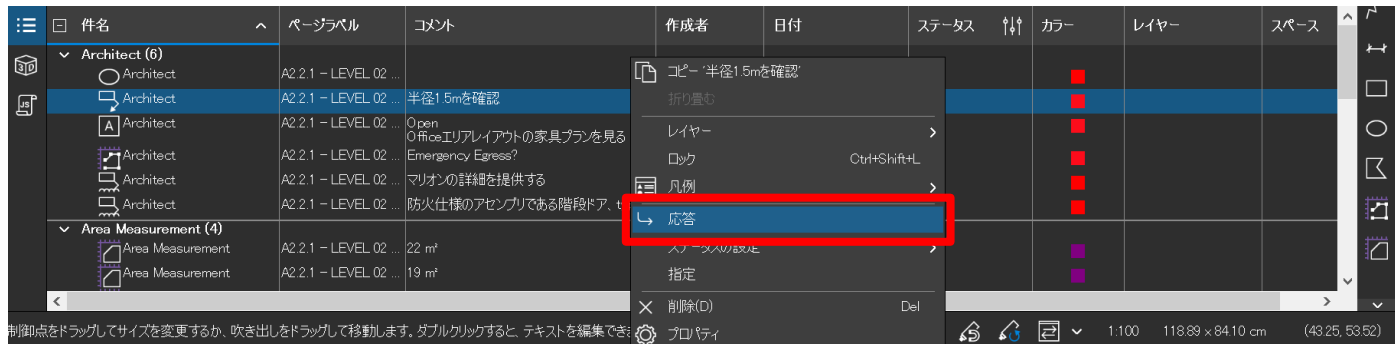


コメント	作成者	日付	ステータス	カラー	レイヤ
...	JPopiel	2019/02/26 9:14:24		■	
半径1.5mを確認	JPopiel	2020/02/18 19:10:01	完了 は、T.Tanaka...	■	
Open Officeエリアレイアウトの家具プランを見る	JPopiel	2020/02/18 19:10:04		■	
Emergency Egress?	JPopiel	2020/02/18 19:10:09		■	

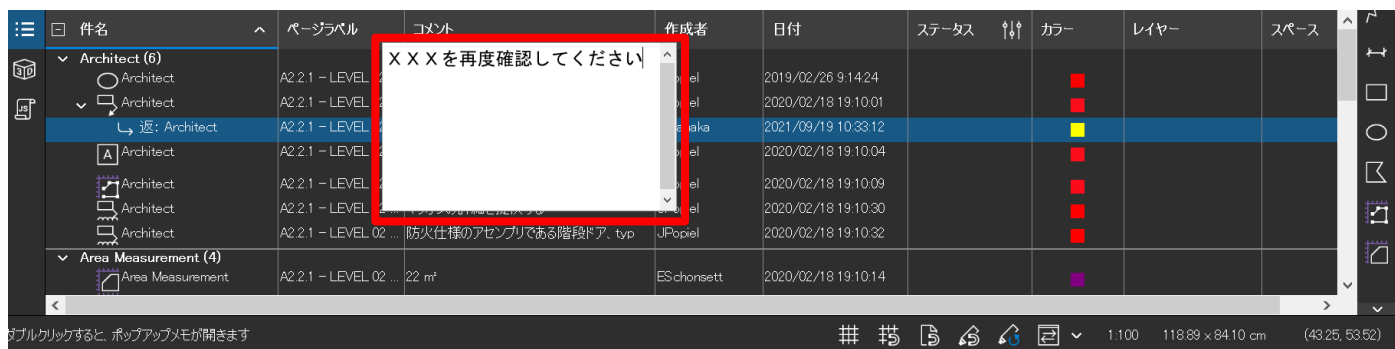
応答：

書き込まれているマークアップに回答してコメントすることができます。

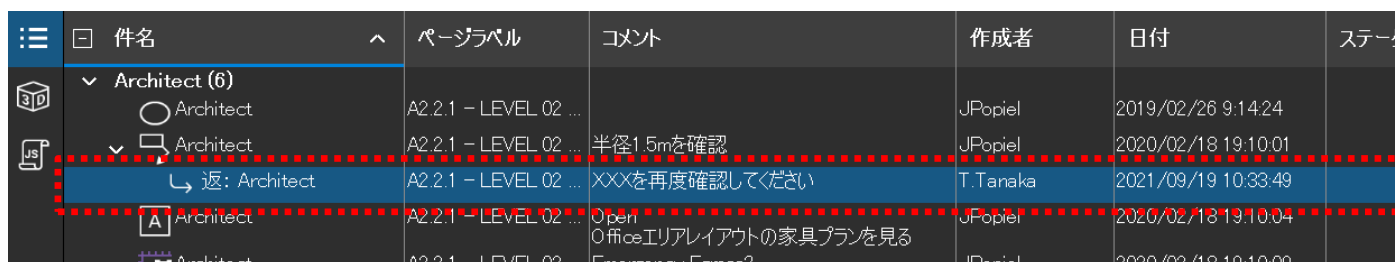
回答の入力は、ワークスペース上のマークアップ、またはマークアップリスト上のマークアップを選択し、右クリックして[応答]を選択します。



必要に応じてコメントを入力します。



応答は、対象のマークアップの下に新しい行で表示されます。



(ステータスの変更、応答を利用した簡単なワークフローの例)

①既存のマークアップに対して修正指示。

ステータス：キャンセル

応答コメント：「修正をお願いします」

件名	ページラベル	コメント	作成者	日付	ステータス
Architect (6)					
Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...		JPopiel	2019/02/26 9:14:24	
Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...	半径1.5mを確認	JPopiel	2020/02/18 19:10:01	キャンセルは、T.Ta...
返: Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...	修正をお願いします	T.Tanaka	2021/09/19 10:55:31	
Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...	Open Office 3Dモデルの家具プランを見る	JPopiel	2020/02/18 19:10:04	

②修正指示に対して、修正完了

ステータス：完了

応答コメント：「確認をお願いします。」

件名	ページラベル	コメント	作成者	日付	ステータス
Architect (6)					
Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...		JPopiel	2019/02/26 9:14:24	
Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...	半径1.5mを確認	JPopiel	2020/02/18 19:10:01	キャンセルは、T.Ta...
返: Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...	修正をお願いします	T.Tanaka	2021/09/19 10:55:31	完了は、JPopiel ...
返: 返: Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...	確認をお願いします	JPopiel	2021/09/19 10:58:38	
Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...	Open Office 3Dモデルの家具プランを見る	JPopiel	2020/02/18 19:10:04	

③修正内容を確認して承認

ステータス：承認

応答コメント：「確認しました」

件名	ページラベル	コメント	作成者	日付	ステータス
Architect (6)					
Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...		JPopiel	2019/02/26 9:14:24	
Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...	半径1.5mを確認	JPopiel	2020/02/18 19:10:01	キャンセルは、T.Ta...
返: Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...	修正をお願いします	T.Tanaka	2021/09/19 10:55:31	完了は、JPopiel ...
返: 返: Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...	確認をお願いします	JPopiel	2021/09/19 10:58:38	承認は、T.Tanaka...
返: 返: 返: Ar...	A2.2.1 - LEVEL 02 ...	確認しました	T.Tanaka	2021/09/19 11:00:11	
Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 ...	Open Office 3Dモデルの家具プランを見る	JPopiel	2020/02/18 19:10:04	

■ マークアップの要約

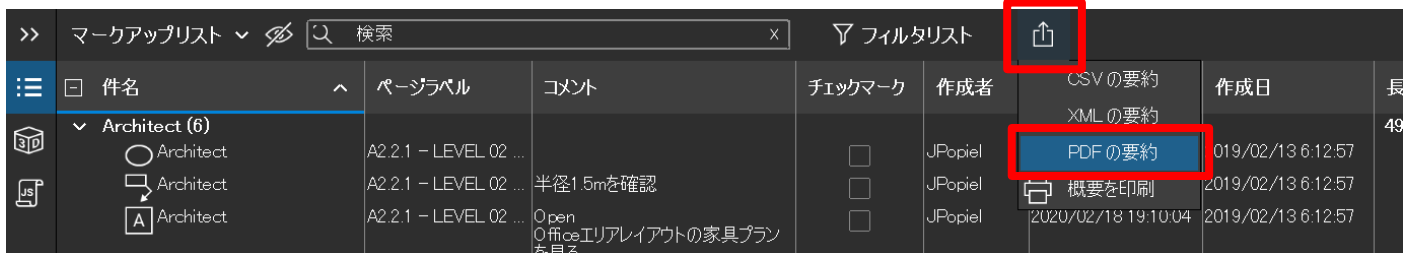
すべてのマークアップの記録についてレポート形式の要約を作成することができます。

要約を作成することで、Revu をお持ちでない方でもマークアップリストの情報の確認ができるようになります。

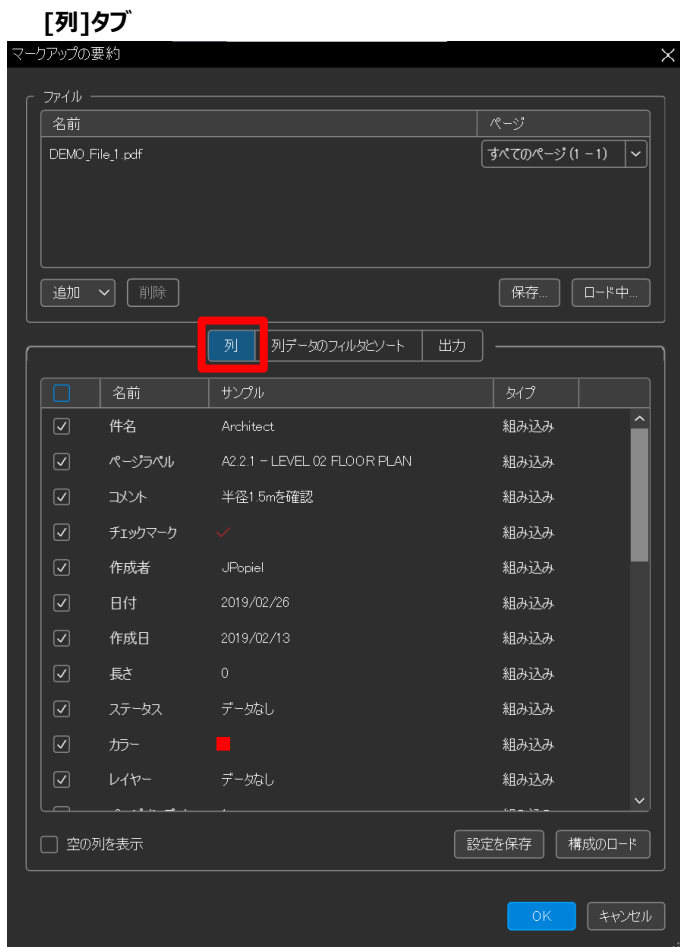
ファイル形式は、PDF 形式や Excel 等での活用が可能な CSV 形式で出力が可能です。

(PDF 形式の要約を作成)

マークアップリストツールバーの[概要]をクリックして、[PDF の要約]を選択し、[マークアップの要約]ダイアログボックスを開きます。



[マークアップの要約]ダイアログボックスで、出力する要約の内容の設定を行います。

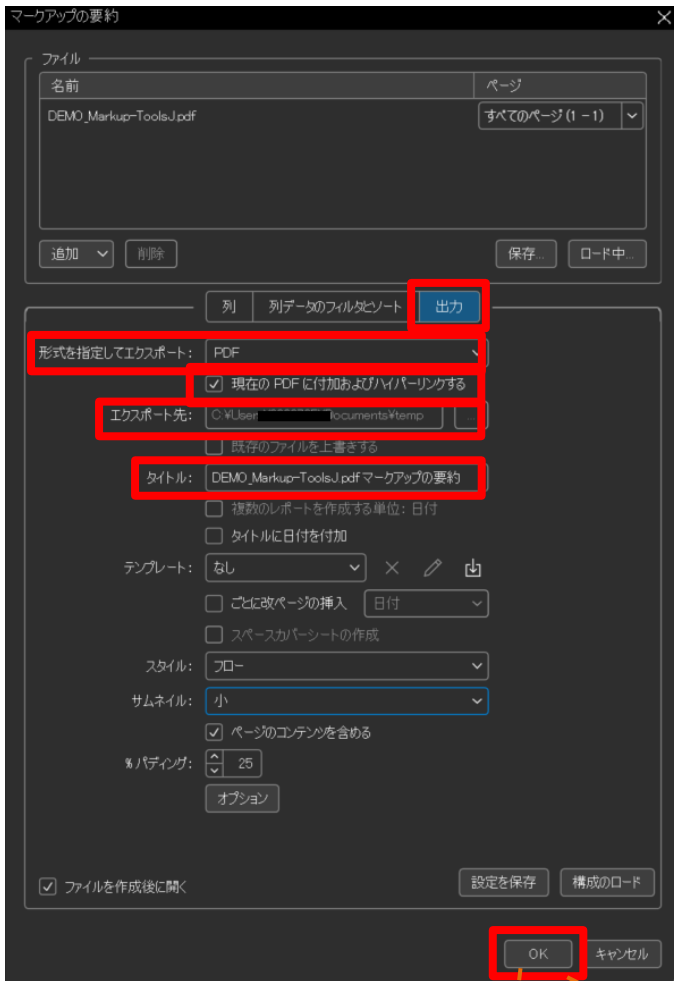


要約に出力する列を設定します



要約に出力する各列データのフィルタ、ソートを設定します
 ※Core プランではフィルタ、ソートの設定はできません。

[出力]タブ



(主なオプション設定)

[形式を指定してエクスポート]

要約の出力形式を選択します (CSV/XML/PDF/印刷)

[現在の PDF に付加およびハイパーリンクする]

現在表示している PDF の最後に要約が追加され、
要約のサムネイルと図面上のマークアップがリンクされます。

[エクスポート先]

要約ファイルの出力先を設定します。

[タイトル]

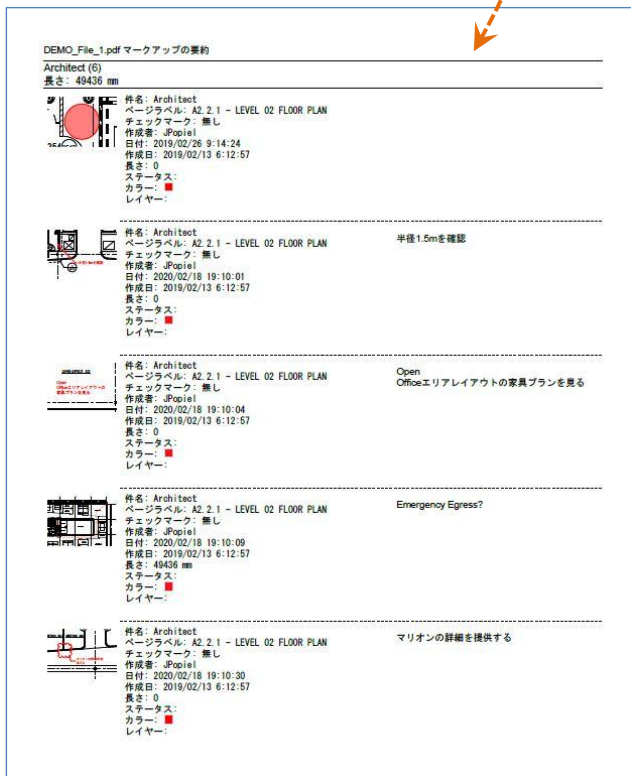
要約に記載するタイトルを設定します。

[スタイル]

要約のスタイルを選択します。(フロー/表形式)

[OK]をクリックして、要約を出力します。

(フロースタイル)



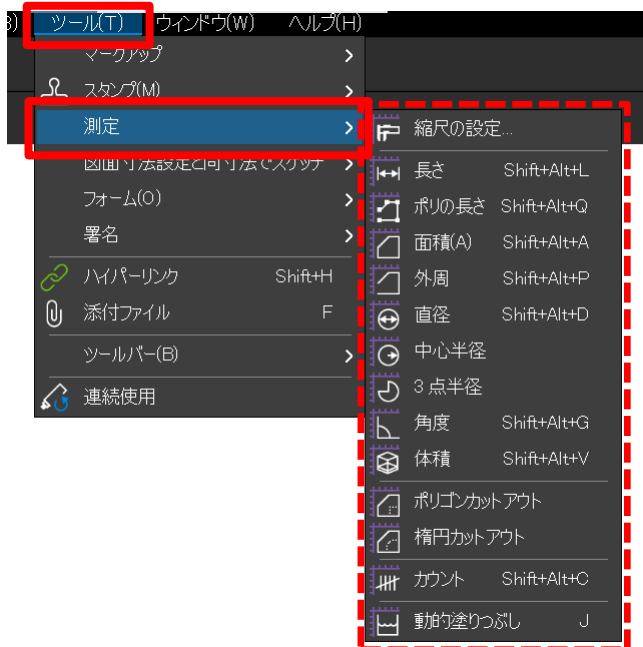
(表スタイル)

マークアップ	件名	ページ	コメント	チェック	作成者	日付	作成日	長さ	ステータス	カラー	レイヤー
	Architect (6)							49436 mm			
	Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 FLOOR PLAN		無し	JPopiel	2019/02/26 9:14:24	2019/02/13 6:12:57	0		■	
	Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 FLOOR PLAN	半径1.5mを確認	無し	JPopiel	2020/02/18 19:10:01	2019/02/13 6:12:57	0		■	
	Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 FLOOR PLAN	Open Officeエリアレイアウトの家具プランを見る	無し	JPopiel	2020/02/18 19:10:04	2019/02/13 6:12:57	0		■	
	Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 FLOOR PLAN	Emergency Egress?	無し	JPopiel	2020/02/18 19:10:09	2019/02/13 6:12:57	49436 mm		■	
	Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 FLOOR PLAN	マリオンの詳細を提供する	無し	JPopiel	2020/02/18 19:10:30	2019/02/13 6:12:57	0		■	
	Architect	A2.2.1 - LEVEL 02 FLOOR PLAN	防火仕様のアセンブリである階段ドア、typ	無し	JPopiel	2020/02/18 19:10:32	2019/02/13 6:12:57	0		■	

■ 測定

PDF 図面上で、長さ、面積、体積、角度、などの測定ができます。測定値はマークアップとして記録され、マークアップリストでの表示や要約での出力が可能です。

メニュー[ツール(T)]の[測定]を選択するとメニューが表示されます。



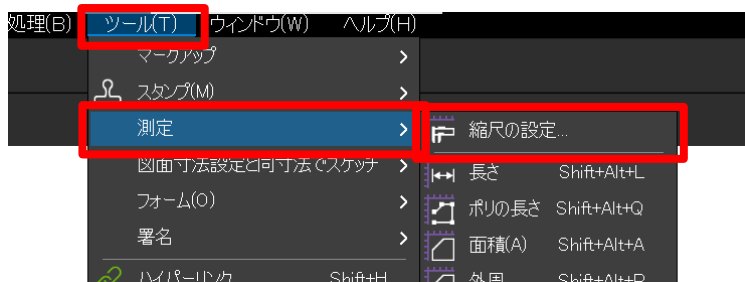
- [縮尺の設定] ドキュメントの縮尺を設定して正確な測定を可能にします
- [長さ] 直線の距離を測定
- [ポリの長さ] 複数の直線の距離の測定とその累積値を計算
- [面積] 多角形の面積を計算
- [外周] 図形のすべての辺の長さを計算
- [直径] 円の直径を計算
- [中心半径] 円の中心と円周上の点で半径を計算
- [3点半径] 円弧の3点を指定して半径を計算
- [角度] 3つの点で指定して角度を計算
- [体積] 定義した高さで体積を計算します。
- [ポリゴンカット] 既存の面積から多角形の領域を削除
- [楕円カットアウト] 既存の面積から楕円の領域を削除
- [カウント] カウントマークアップを配置して合計を計算
- [動的塗りつぶし] 閉じた領域を塗りつぶして、面積や外周などを測定

※Coreプランでは、動的塗りつぶしでの測定はできません

● 縮尺の設定

PDF 図面に縮尺が設定されていない場合にはまず縮尺を設定します。

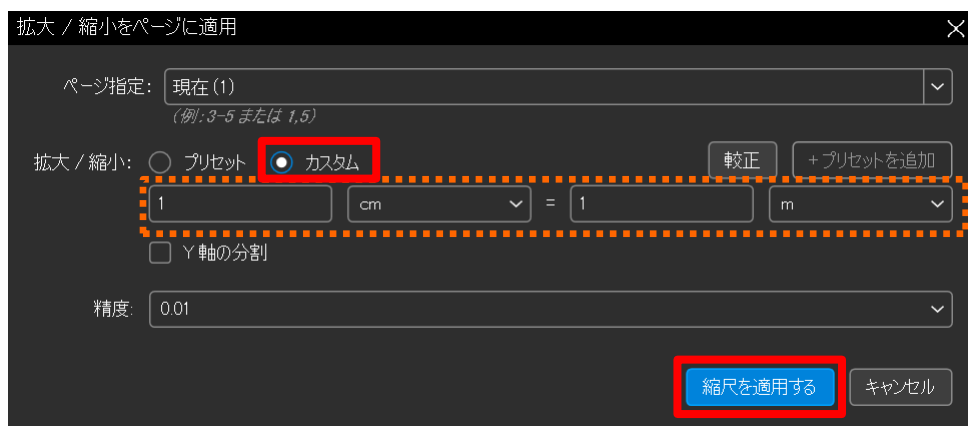
メニュー[ツール(T)]の[測定]でメニューを表示し、[縮尺の設定]を選択します。



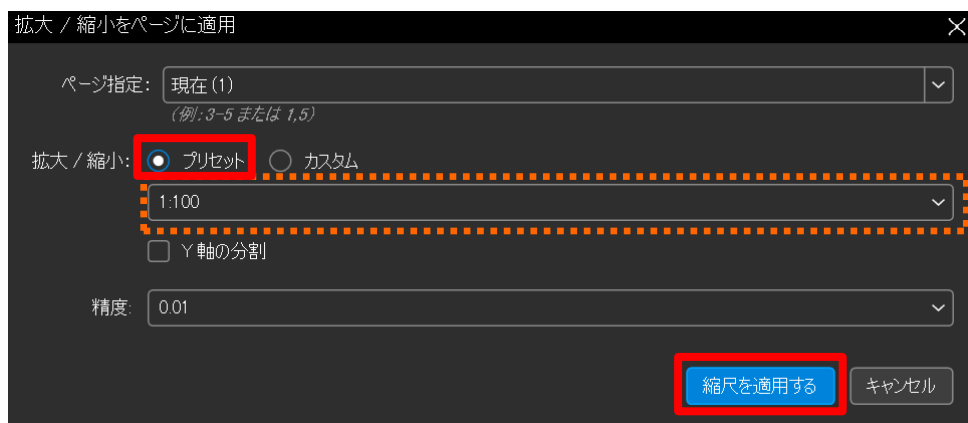
ダイアログボックスが表示されます。

[カスタム]をチェックして、図面上の寸法に対する実際の寸法を設定します。

※下記は、図面上の 1cm が実際は 1m と設定している例です。



または、[プリセット]をチェックして、1:100 などの縮尺を選択します。



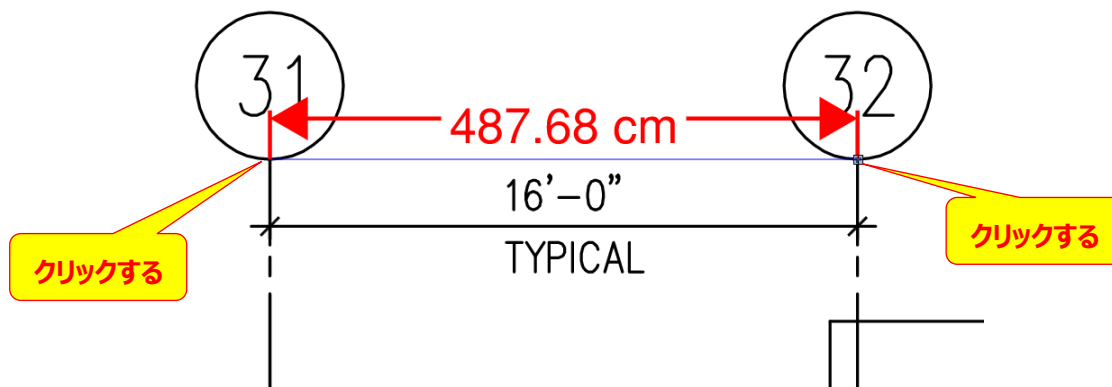
[縮尺を適用する]をクリックして設定完了です。

縮尺は、図面上の2点を指定して設定することもできます。

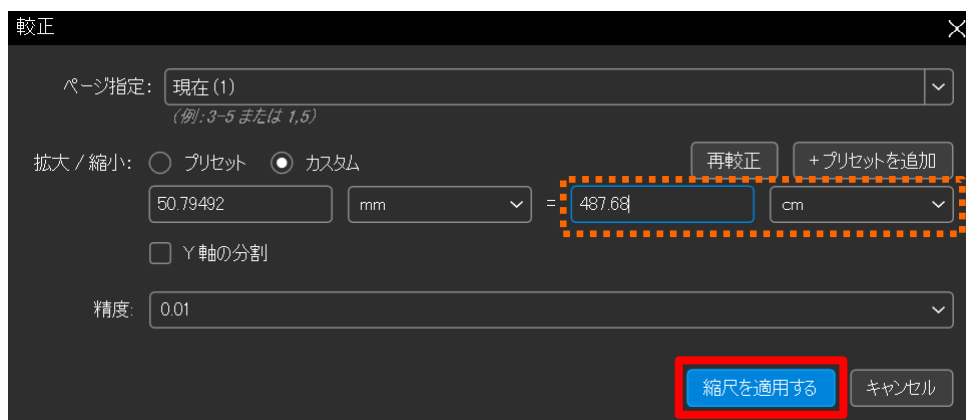
ダイアログボックスの[校正]をクリックすると、確認表示出ますので、[OK]をクリックします。



図面上で寸法が既知の部分の2点をクリックします。



実際の2点間の寸法を入力して、[縮尺を適用する]をクリックして設定完了です。

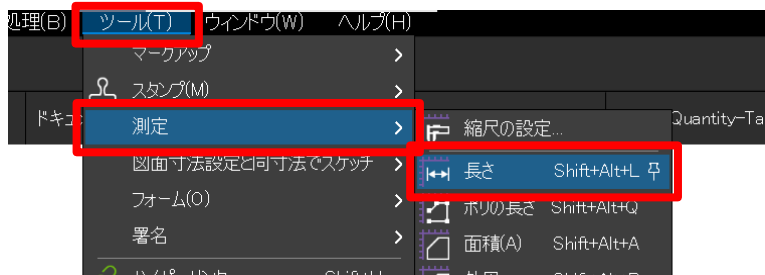


●長さ測定

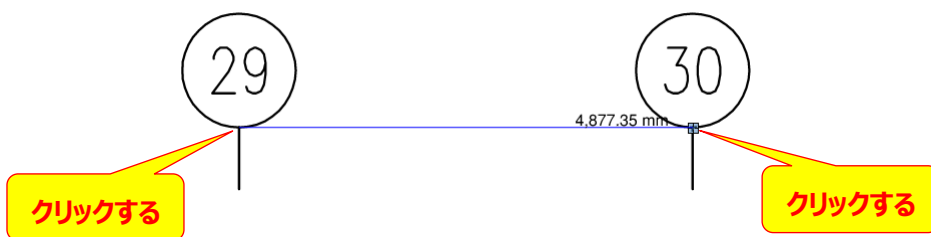
PDF 図面上の直線の長さを測定します。

※縮尺の設定を行っていない場合は、ダイアログボックスが表示されますので設定してください。

メニュー[ツール(T)]の[測定]でメニューを表示し、[長さ]を選択します。

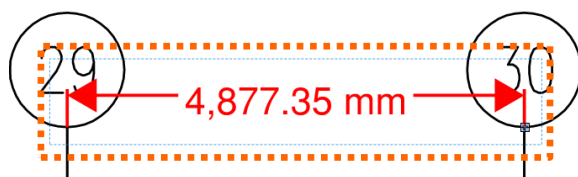


測定したい箇所の 2 点をクリックして指定します。



2 点をクリックして指定すると、自動的に測定結果が矢印付きで表示されます。

この測定結果はマークアップとして記録されます。



測定マークアップの矢印の色、フォントなどの各種プロパティは、[プロパティ]パネルにて変更ができます。

また、この測定結果は、マークアップとして記録されますので、マークアップリスト上で確認することができます。

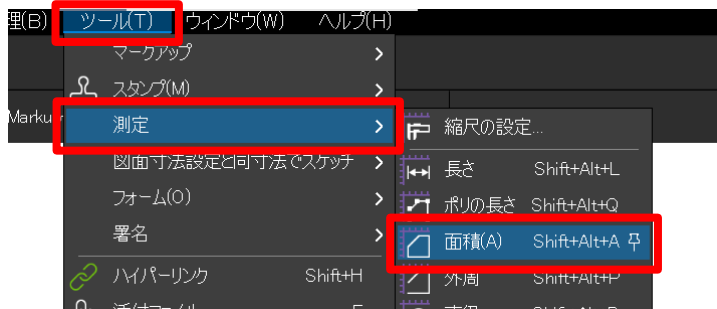
☰	☐ 件名	↑	ページラベル	コメント	作成者	日付	長さ	ステータス
📁	▼ 長さの測定 (1)						4,877.35 mm	
📄	📏 長さの測定		A 2.01.2	4,877.35 mm	T.Tanaka	2021/09/20 14:37:00	4,877.35 mm	

● 面積測定

PDF 図面上の面積を測定します。

※縮尺の設定を行っていない場合は、ダイアログボックスが表示されますので設定してください。

メニュー[ツール(T)]の[測定]でメニューを表示し、[長さ]を選択します。



測定対象の各頂点を外周に沿ってクリックしていきます。最終点でダブルクリックすると自動的に測定結果が表示されます



測定マークアップの線の色、フォント、塗りつぶしなどの各種プロパティは、[プロパティ]パネルにて変更ができます。

また、この測定結果は、マークアップとして記録されますので、マークアップリスト上で確認することができます。

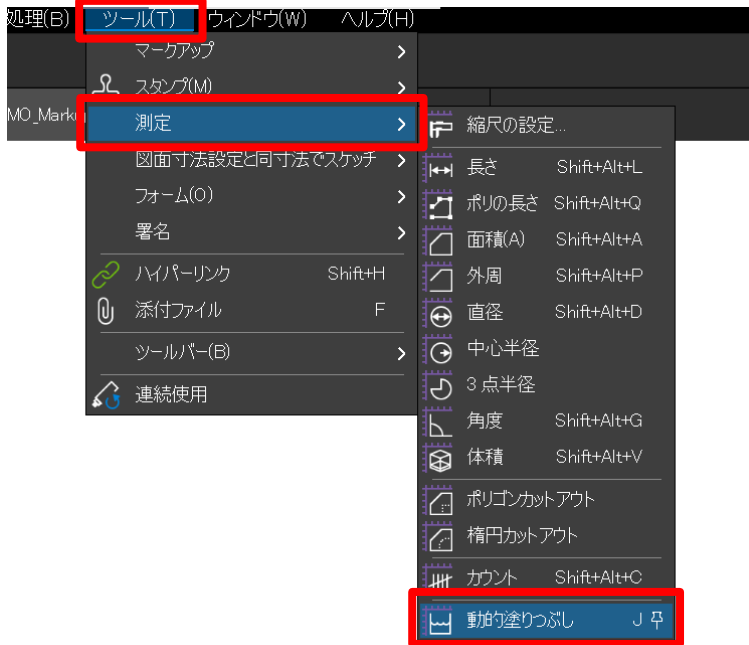
☰	□ 件名	↑	ページラベル	コメント	作成者	日付	面積	ステータス
📁	▼ 面積の測定 (1)						10.05 m ²	
📄	📏 面積の測定		A 2.01.2	10.05 m ²	T.Tanaka	2021/09/20 15:18:51	10.05 m ²	

● 塗りつぶしによる測定 ※本機能は Complete プランでのみ利用可能です。

PDF 図面上の閉領域に対して塗りつぶしを行い、面積の測定などを行います。

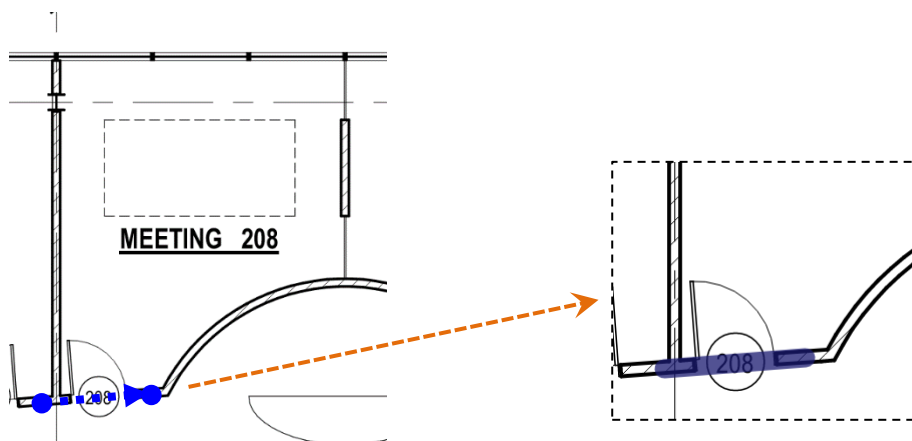
※縮尺の設定を行っていない場合は、ダイアログボックスが表示されますので設定してください。

メニュー[ツール(T)]の[測定]の[動的塗りつぶし]を選択し、[動的塗りつぶし]ツールバーを表示します。

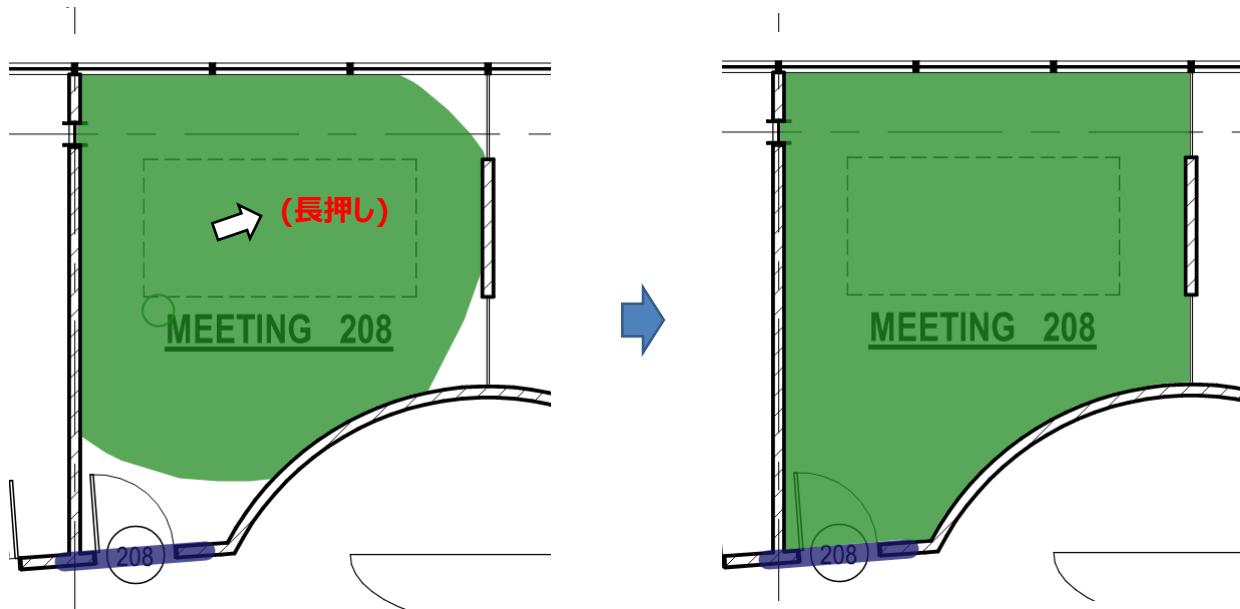


図形の閉領域に対して塗りつぶしを行うにあたり、必要に応じて一時的な境界を追加します。

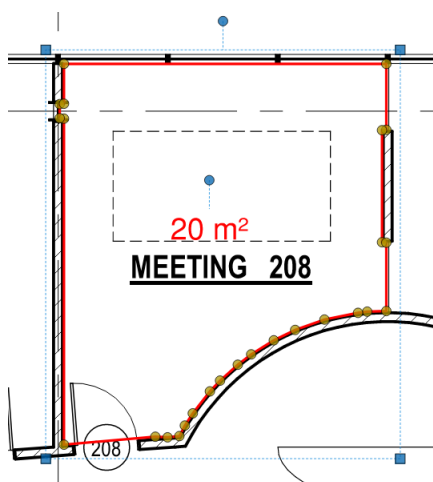
[動的塗りつぶし]ツールバーの[境界を追加] 選択し、境界の始点をクリックし、終点をダブルクリックして境界の描画を完了します。



[動的塗りつぶし]ツールバーの[塗りつぶし]を選択してから、目的の図形の閉領域内をクリックして長押しします。



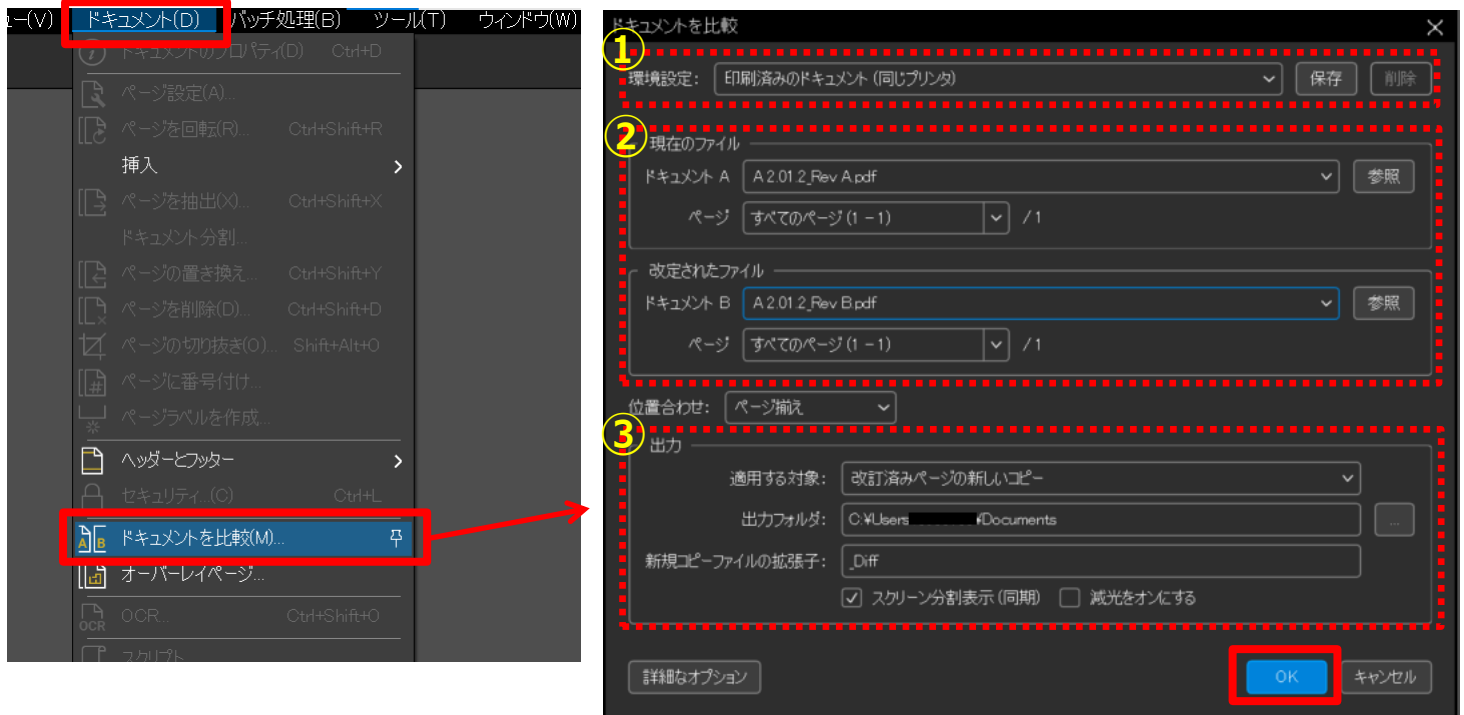
閉領域の塗りつぶしが完了したら、[動的塗りつぶし]ツールバーの[面積の測定]を選択後、[適用]をクリックしてマークアップを作成します。



■ PDF の比較

2つの PDF 図面の比較を行います。図面間の差分は“クラウド”で表示され、マークアップリストから確認することも可能です。

メニュー[ドキュメント(D)]の[ドキュメントを比較(M)]を選択し、[ドキュメントの比較]ダイアログボックスを表示します。



[ドキュメントの比較]ダイアログボックスで、比較条件を設定します。

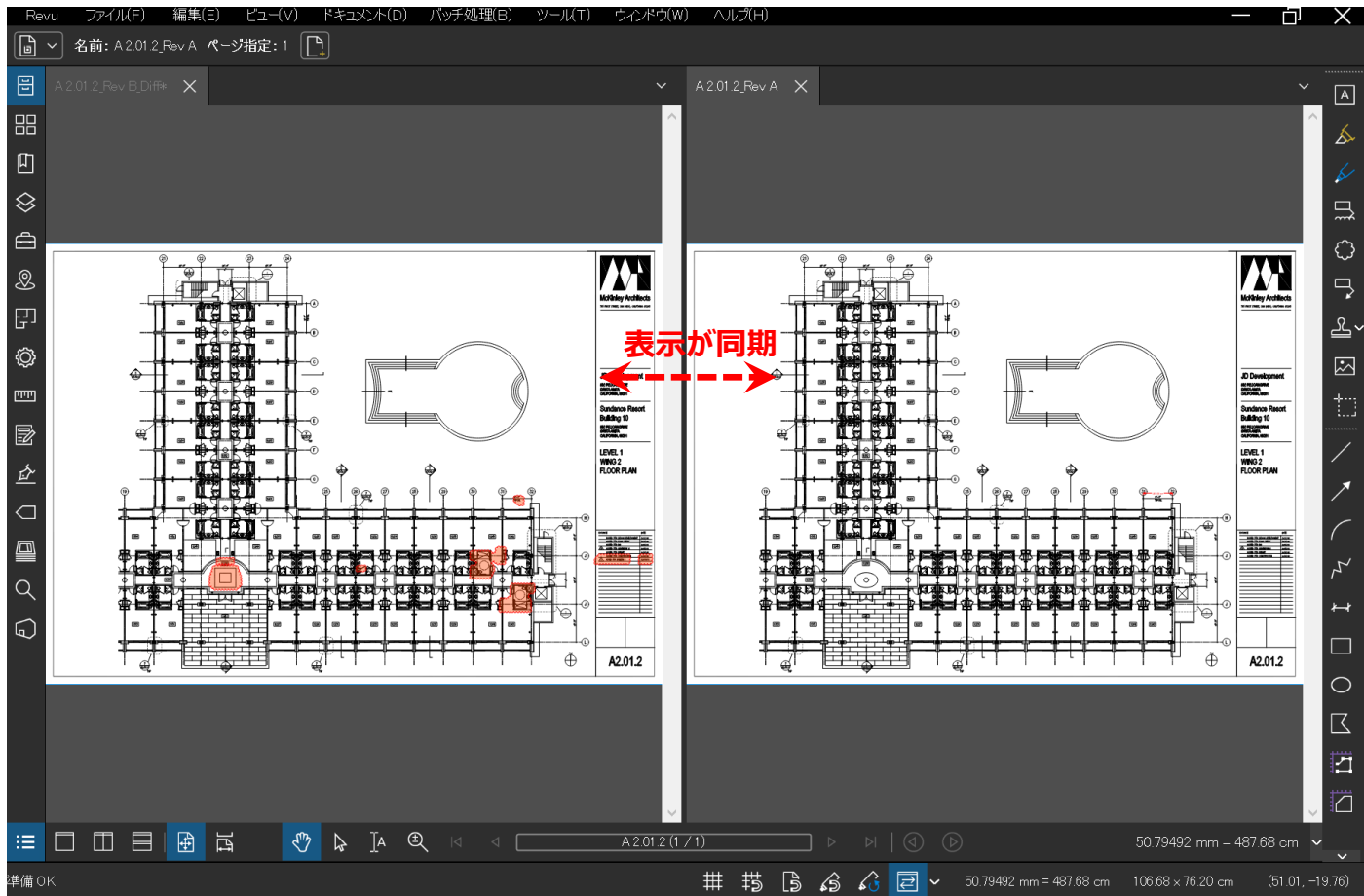
- ① 比較する PDF の環境を選択します。
 - [印刷済みのドキュメント(同じプリンタ)] : 同じ PDF プリンタを使用して生成した PDF 同士の場合
 - [印刷済みのドキュメント(別のプリンタ)] : 異なる PDF プリンタを使用して生成した PDF 同士の場合
 - [スキャン済みのドキュメント] : どちらかの PDF がスキャナで生成した場合
- ② ドキュメント A、ドキュメント B に、比較する 2 つの図面のファイルと比較対象のページを設定します。
- ③ 比較結果の出力方法を設定します。
 - 適用する対象：“差分”のマークアップを追加するドキュメントを指定します。
 - 出力フォルダ：比較結果のファイルの保存先を指定します。
 - 新規コピーファイルの拡張子：比較結果のファイル名に追加されるサフィックスを指定します。

[OK]をクリックすると、指定した内容で比較を行います。

Bluebeam Revu スタートアップガイド

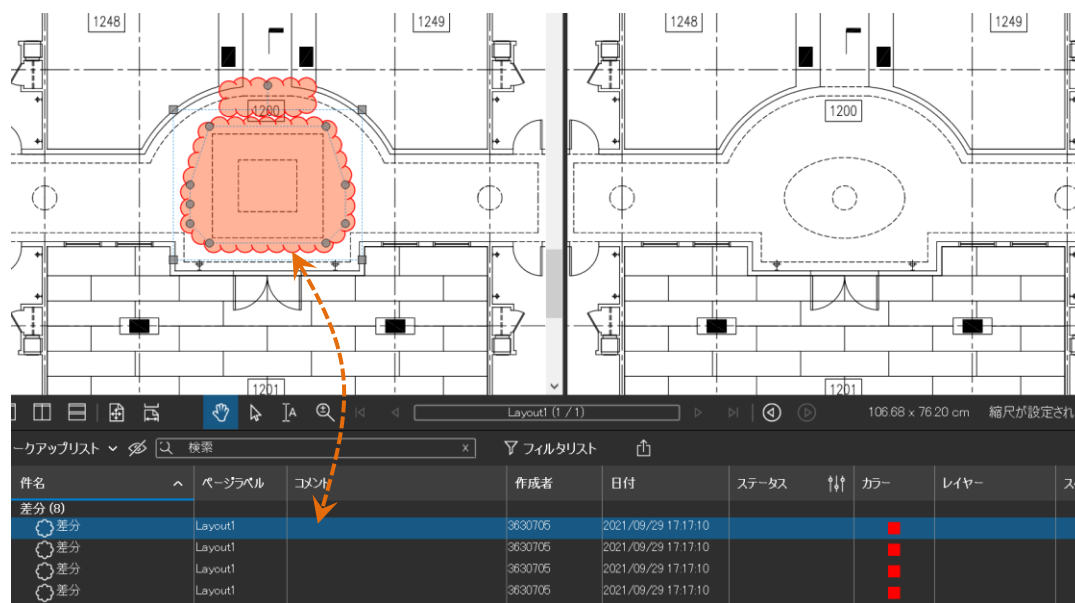
比較結果の PDF ファイルが作成され、差分は“クラウド”マークアップで表示されます。

また、比較した図面と横並びに表示されます。片方のウィンドウでスクロールやズームをすると、もう片方のウィンドウの表示が同期して更新されます。



マークアップリストにて、“差分”のマークアップを確認することができます。

マークアップリスト内の“差分”のマークアップを選択すると、ワークスペース上の差分のある位置にジャンプします。



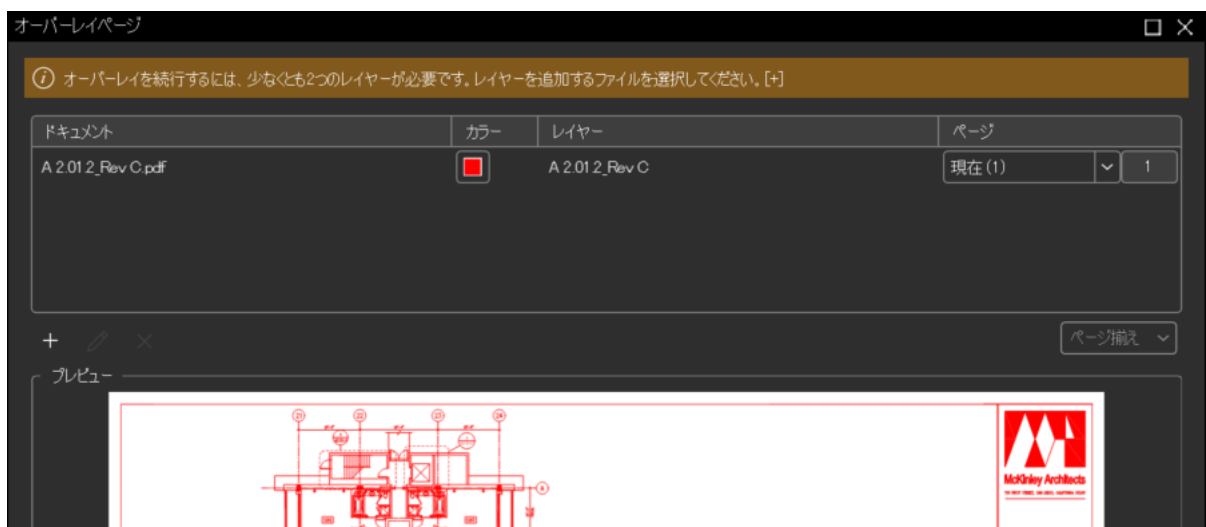
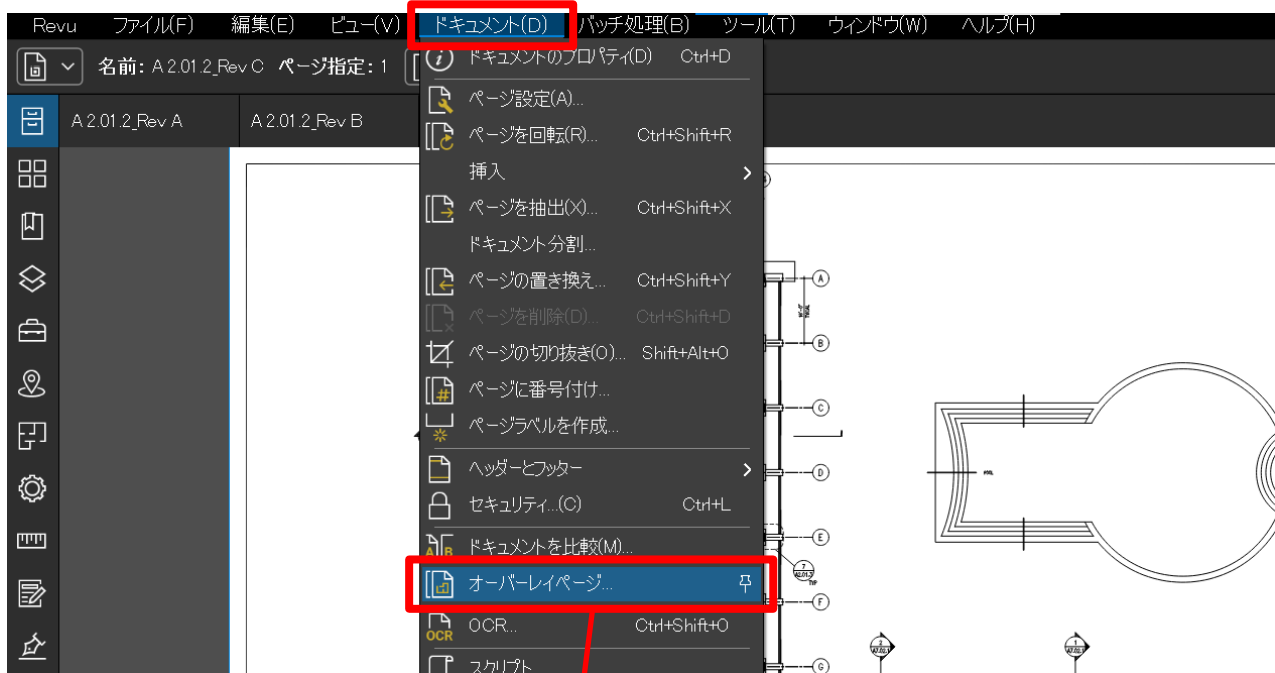
■ PDF の重ね図（オーバーレイ）

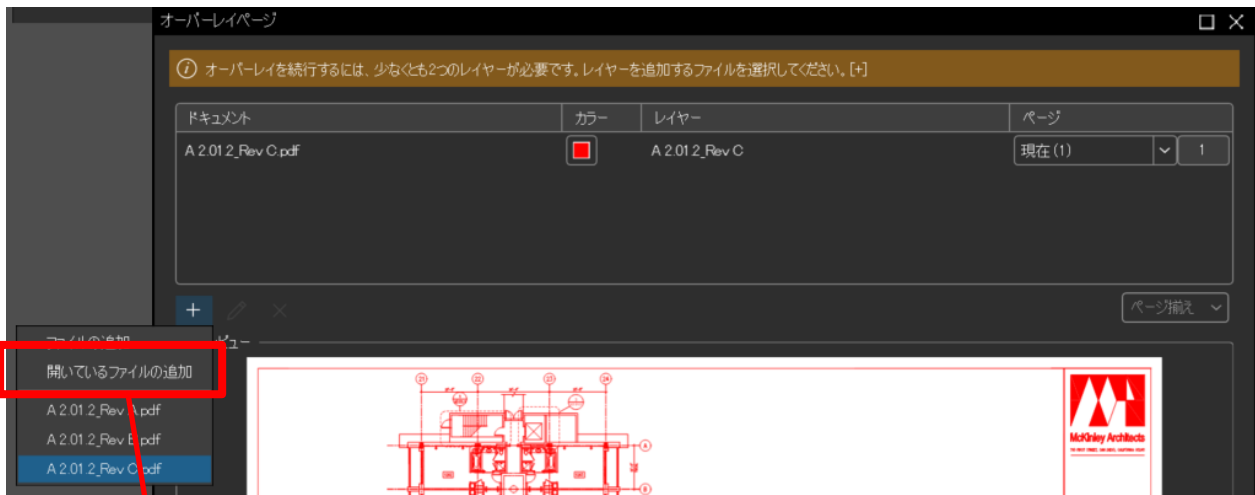
2つ以上の PDF 図面の重ね合わせを行い、図面間の差分を色の違いで表示します。

あらかじめ比較する PDF 図面を Revu で開いておきます。

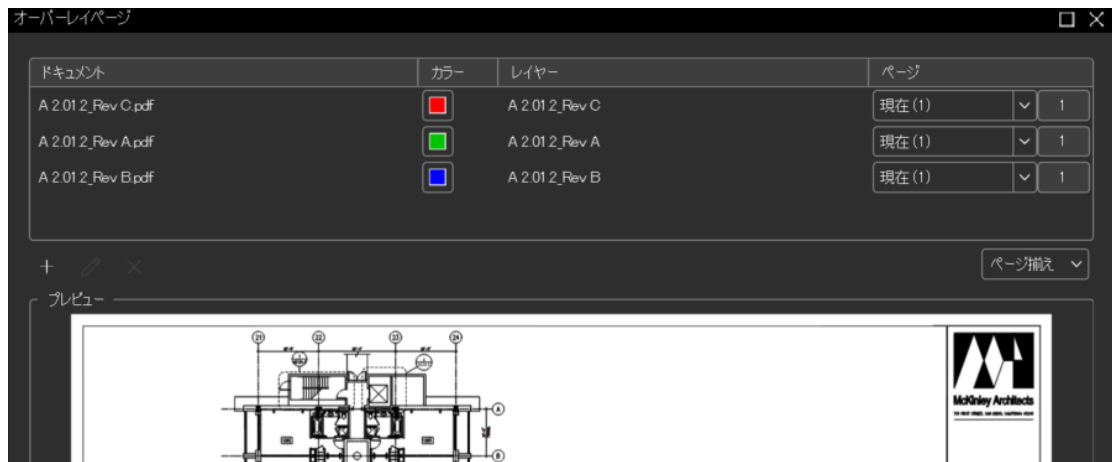
メニュー[ドキュメント(D)]の[オーバーレイページ]を選択し、[オーバーレイページ]ダイアログボックスを表示します。

ダイアログボックスには、現在開いている PDF がレイヤーリストに自動的に追加されます。オーバーレイを行う他の PDF ファイルを「ファイルを追加」ボタンから追加します。

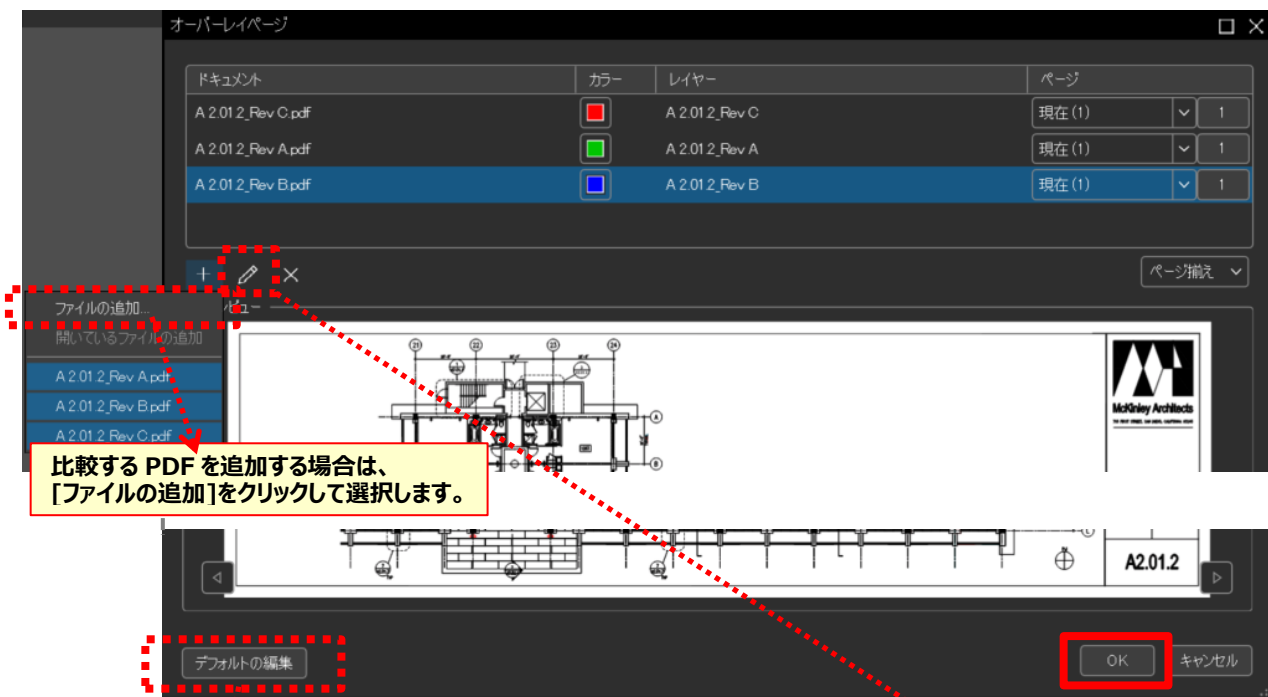




ダイアログボックスには、現在開いている PDF ドキュメントがレイヤーリストに自動的に追加されます。)
 [開いているファイルの追加]をクリックして、すべての PDF ドキュメントをリストに追加します。



[オーバーレイページ]ダイアログボックスで、比較条件を設定します。



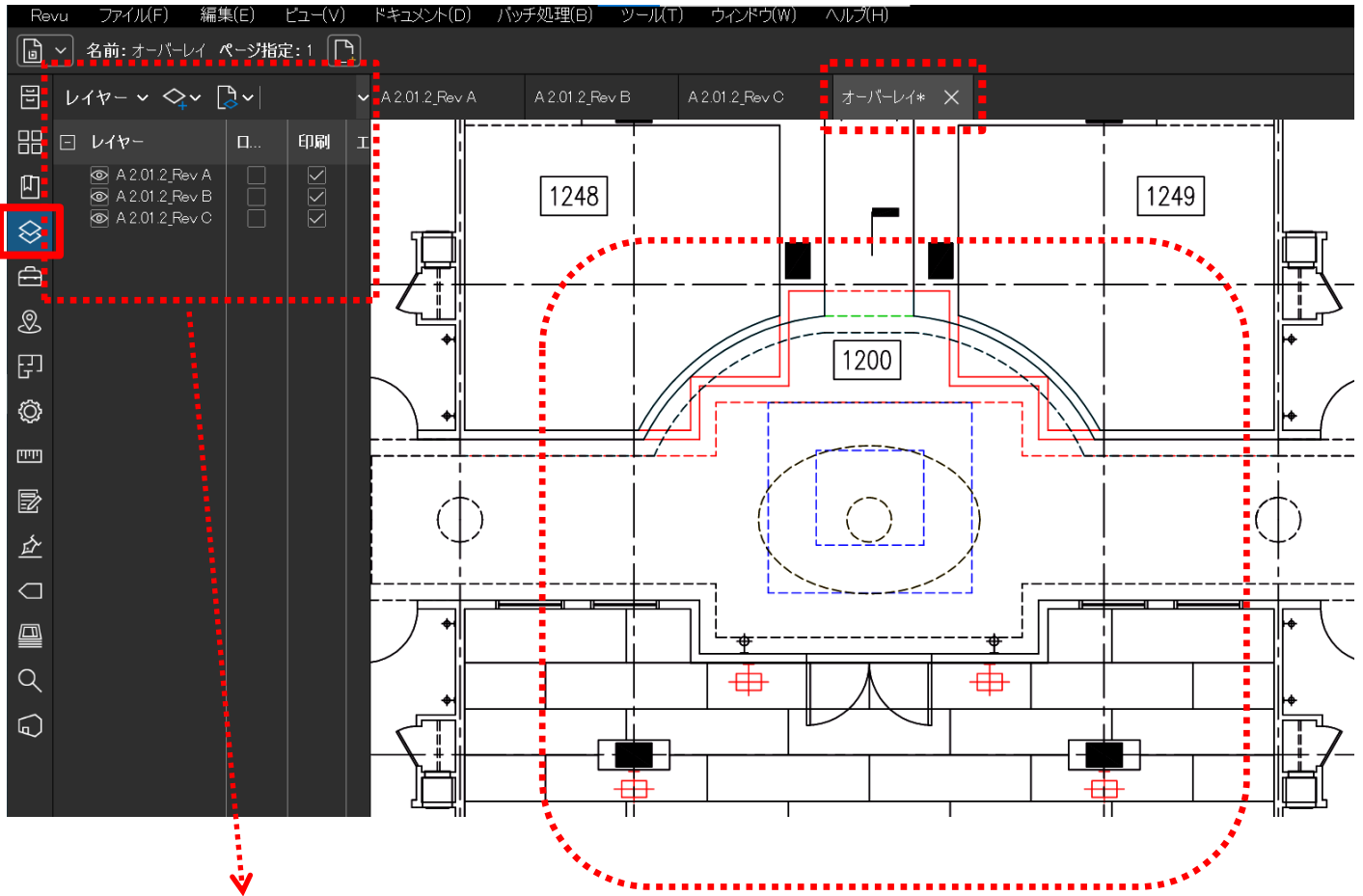
レイヤー情報のデフォルトは、[デフォルトの編集]から行います。



レイヤーの情報等の変更は、[レイヤーの編集]から指定します。

[OK] をクリックします。

各図面は、PDF のレイヤーとして重ね合わせられ、「オーバーレイ」という名前のファイルに格納されます。



各図面は、「レイヤー」パネルから
選択表示することができます。

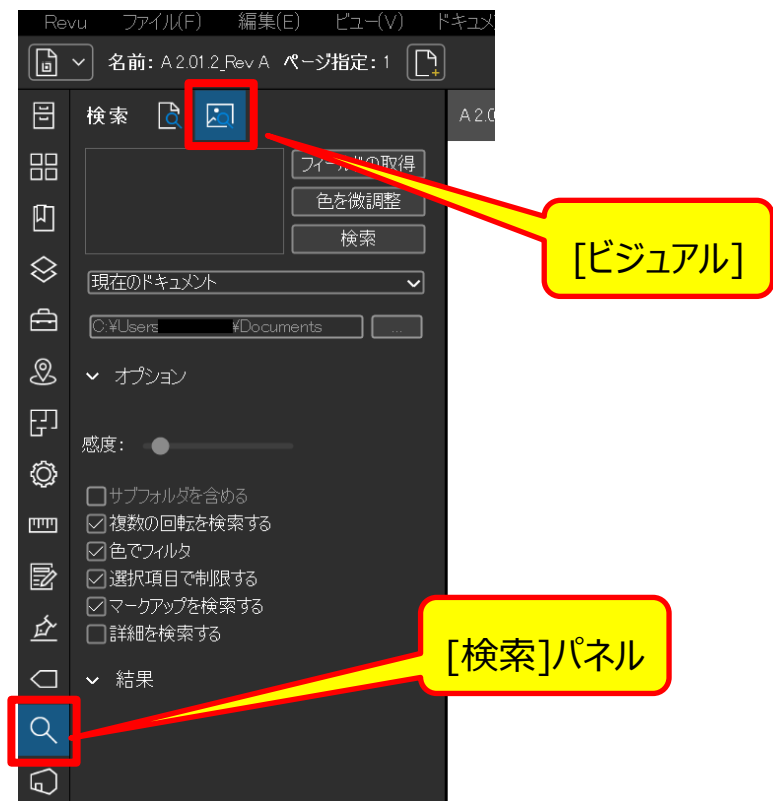
各レイヤーの差分が指定された色で表示されます。
重複する部分は黒色で表示されます。

※ 2つの PDF の比較とは異なり、マークアップリストに差分等は記録されません。

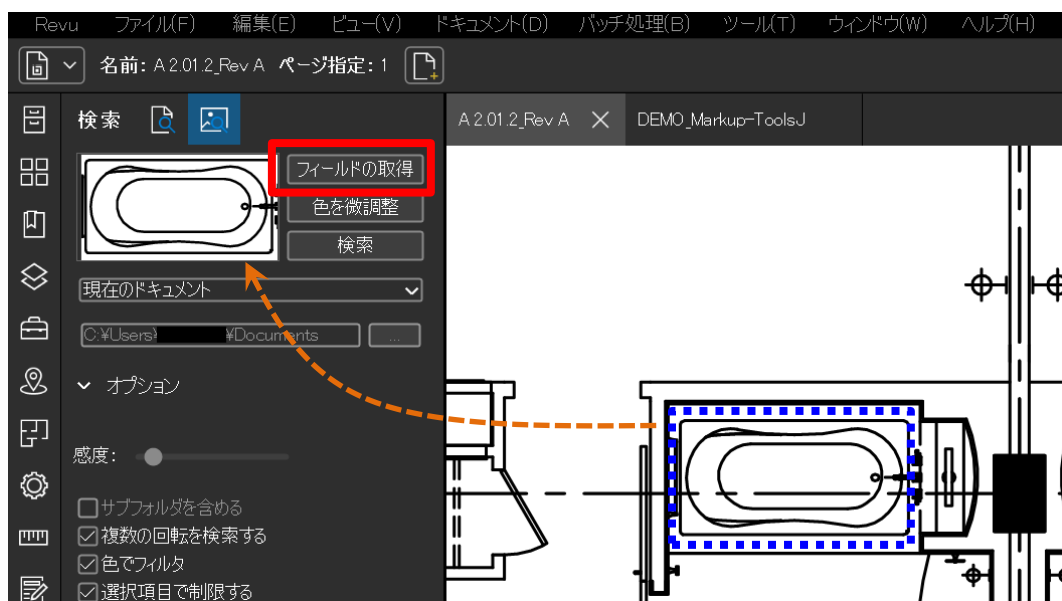
■ 図形検索

PDF 図面上の指定した図形と同一の形状のものを検索します。検索結果の数のカウントを行うことができます。

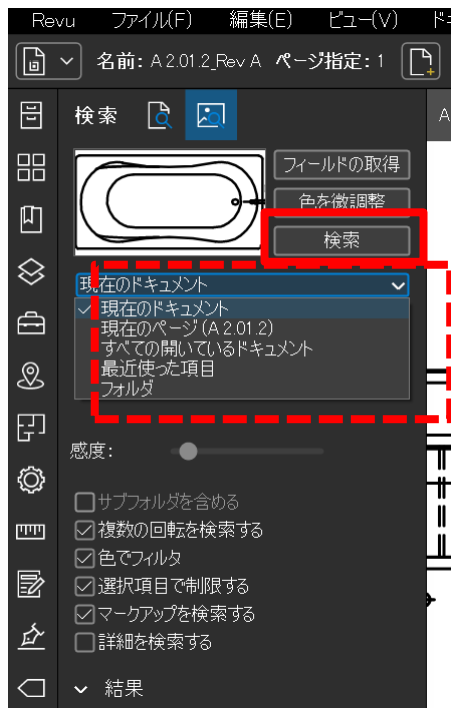
パネル[検索]を選択して、[検索]パネルを表示し、検索ツールバーから[ビジュアル]を選択します。



[フィールドの取得]を選択し、検索する画像の周囲を四角にクリックして、切り出した画像をプレビューウィンドウで確認します。



検索対象となるドキュメント、または場所を選択します。

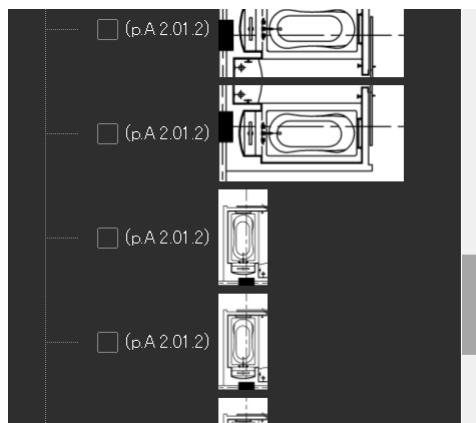
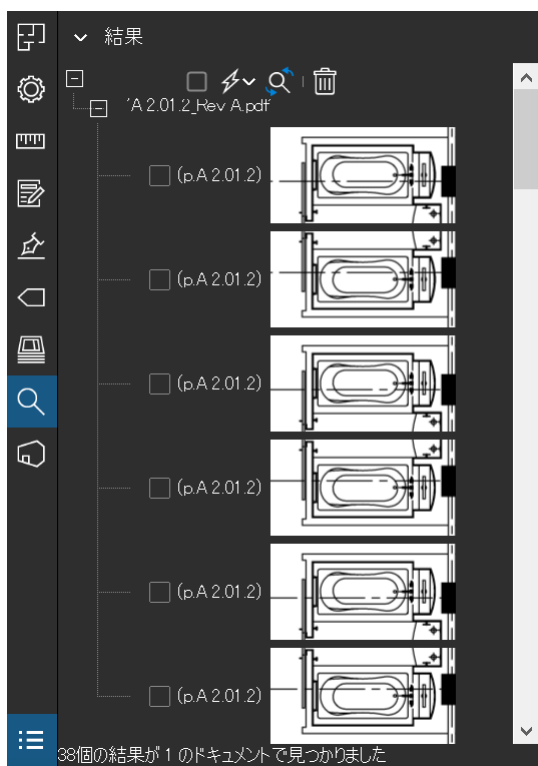


検索する場所は、以下から選択可能です。

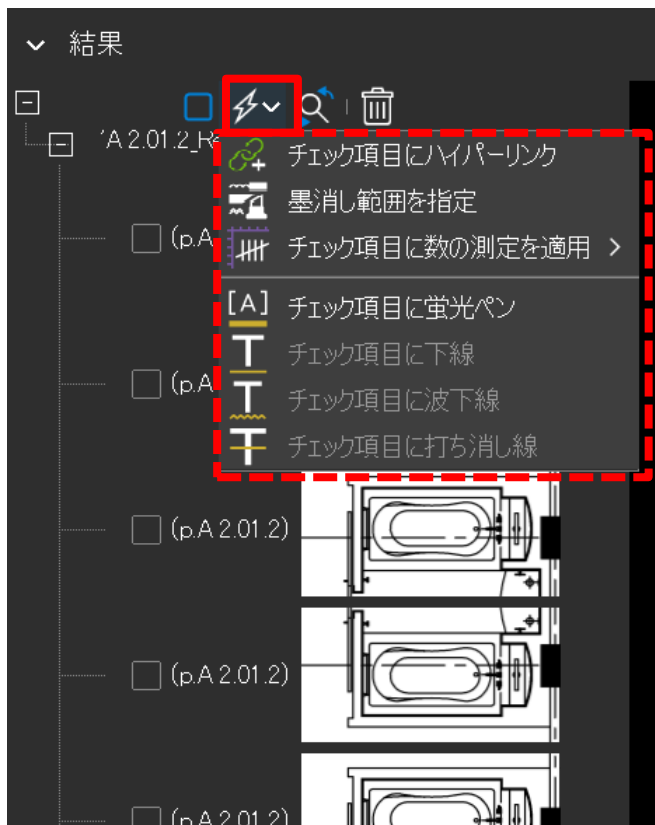
- 現在のドキュメント
- 現在のページ
- すべての開いているドキュメント
- 最近使った項目
- フォルダ

[検索]をクリックします。

検索結果がパネル下部に表示されます。



検索画像と向きが異なっていても検索できます。



各検索結果の横のチェックボックスにチェックし、[アクション]メニューから実行したいアクションを選択します。

[チェック項目にハイパーリンク]

選択した各結果に対してはハイパーリンクを作成します。

[墨消し範囲を指定]

選択した各結果を修正（ドキュメントからテキストと画像を完全に削除）します。

[チェック項目に数の測定を適用]

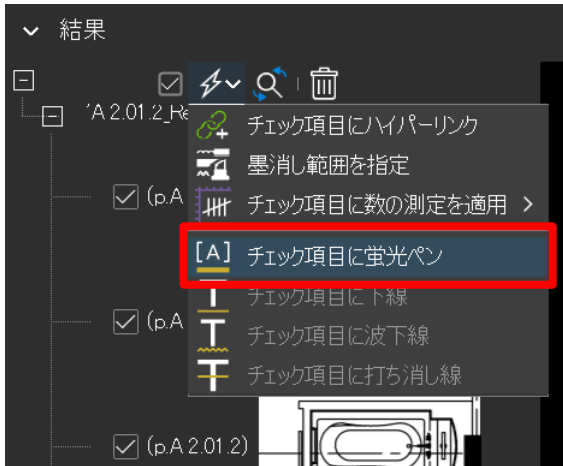
選択した各結果に“カウント測定マークアップ”を追加します。

[チェック項目に蛍光ペン]

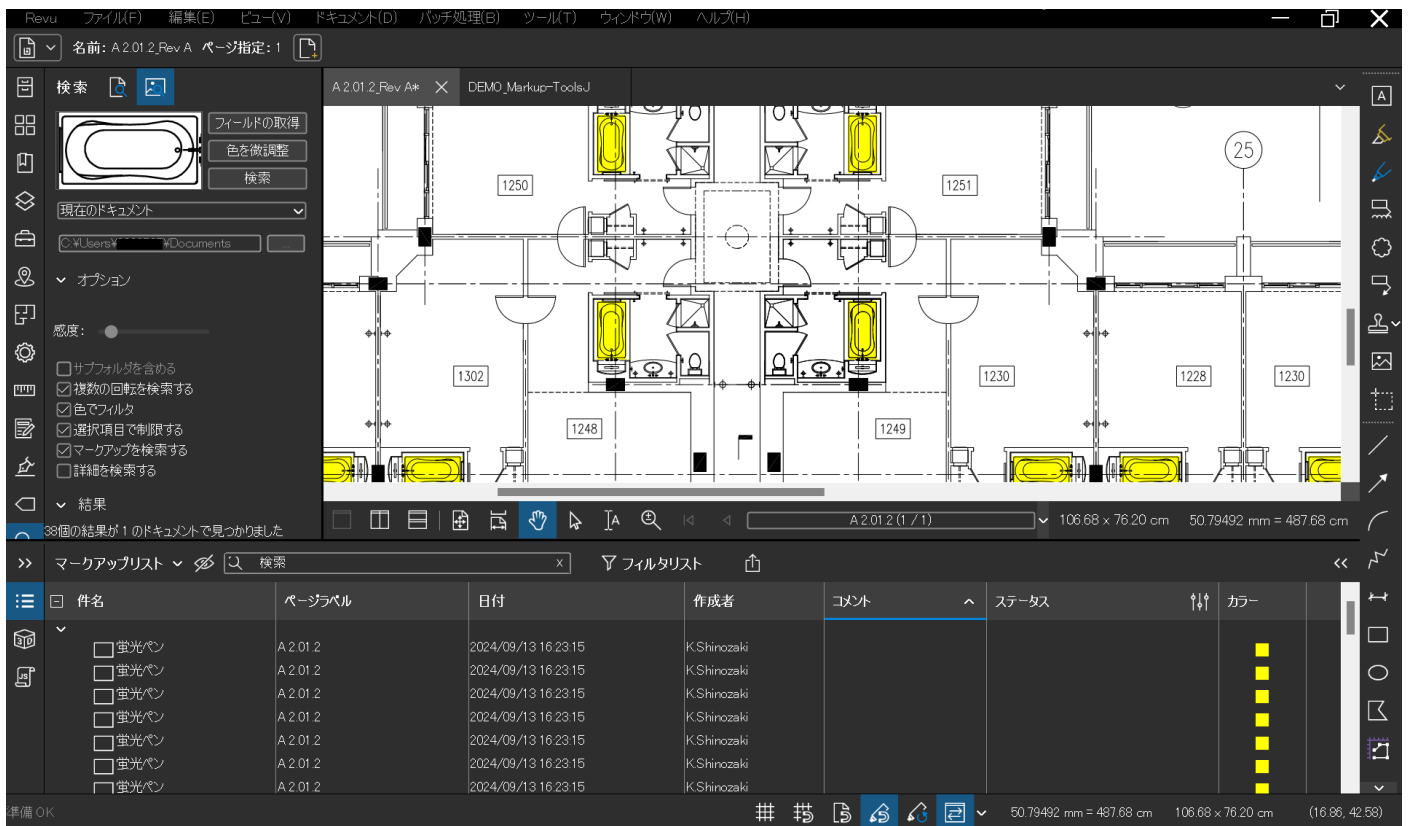
選択した各結果に“蛍光ペン”マークアップを適用します。

(例：検索結果に“蛍光ペン”マークアップを適用)

検索ツールバーの[アクション]メニューの[チェック項目に蛍光ペン]を選択します。



チェックを入れた検索結果に、“蛍光ペン”マークアップが適用されます。マークアップリストにも表示されます。

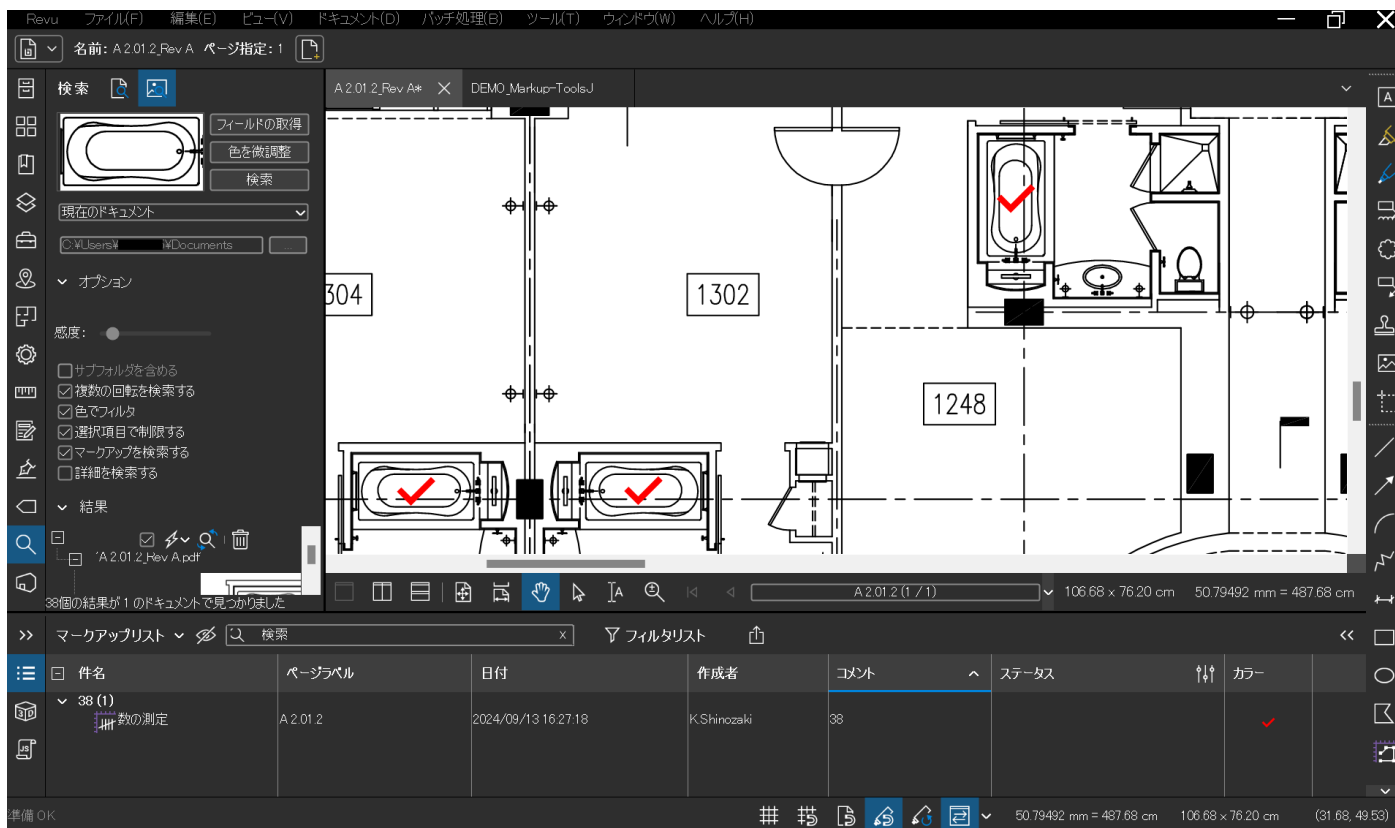


(例：検索結果に“カウント測定マークアップ”を追加の例)

検索ツールバーの[アクション]メニューの[チェック項目に数の測定を適用]を選択し、表示されたカウント記号を選択します。



チェックを入れた検索結果に、選択したカウント記号が追加されます。マークアップリストにも表示されます。



Bluebeam Revu スタートアップガイド (Revu21 基本編)

2026/4/1

パナソニック デジタル株式会社

※本資料は情報提供のみを目的としており、本資料に記載されている情報は本資料作成時点での弊社の見解を示したものです。状況などの変化により、内容は予告なく変更される場合があります。

※当社は、本資料の情報に対して明示的、黙示的または法的な、いかなる保証も行いません。

※Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

※その他記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、®マークは基本的に明記していません。